京城日報

定價　一部金參錢　壹ヶ月七拾五錢
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥山直[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　[illegible]

七月十九日夕刊（朝夕併せて八頁）

出兵問題

△政友會幹部會

政友會にては十七日正午より芝三緣亭にて幹部會を開き原總裁より外交調査委員會の經過報告あり十八日評議員會を開き總裁より黨の態度を說明す可しと（東京特電延著）

△憲政會經過要求

憲政會にては出兵問題に就き黨の態度を決する爲め先づ其經過を確む可く後藤外相に會見を申込み十七日午後八時外相官邸にて會見の筈なり（東京特電延著）

◇チ軍イ市占領

イルクツクは十一日チエツク軍の占領する所となりたり（哈爾賓電報）

◇京都高工學校長

京都高等工藝學校長は工學博士鶴卷鶴一氏に決定せり（京都電報）

◇有松長官著馬

有松拓殖局長官は十九日來馬領海馬山視察の上午後二時四十分發釜山に向ふ筈（馬山特電）

◇小寺代議士通過

小寺代議士は十八日午後八時四十分安東通過奉天に向へり（安東特電）

◇飯田代議士通過

代議士飯田精一氏は十九日朝釜山通過北行せり（釜山特電）

出兵と國論統一の急　在京一記者

◎獨墺俘虜解放以來、露國は全く獨逸の勢力圏に歸し、西伯利一帶は殆ど獨墺俘虜に依りて占領せられつゝあるは掩ふ可からざる事實にして、苟くも今日に當り、斷然たる處置を執り、露國救濟の策に出づるに非ざれば、獨逸東漸の勢ひは、やがて我接壤の勢力圏たる滿蒙に浸潤し、東邦の平和維持す可らざる也。我帝國が聯合國と相謀り、西伯利出動の策に出でむとする所以のもの、吾人洵に其の已むを得ざる措置たるを認めざる能はず。

◎世上或は西伯利出動の擧を以て時機尚早しと云ふものなきにあらずと雖も、苟くも獨逸の既往現在將來に於ける東方進出の計畫如何と西伯利に於ける獨墺俘虜の活動如何とを察すれば帝國の出動は焦眉の急にして一日も猶豫す可からざる擧たるを知るに於て、餘師あらむ。若し我が帝國にして、左顧右眄、逡巡して決する能はざらむ乎、西伯利を根據地とする獨逸の進取策は著々實行せられ、戰後を俟たずして支那の西北部は其の侵迫方面に歸し、滿蒙一帶は其の侵迫する所と爲り、帝國々防の第一線は破壞せらるゝのこと覺悟せざる可からず。豈啻に然るのみならむや。帝國にして一たび出動の機を逸せむ乎、内は國論の歸一を失し外は聯合與國より見離され、支那よりは侮蔑を被り、國際上孤立無援の地に陷るべきは疑ひを容れざる也。想うて此に到れば吾人は帝國の前途の爲に轉た寒心せざらむと欲するも能はず。我が政府が時局の急に其の已む可からざるを察し、内は國論の趨く所を察し、外は聯合與國の要望を容れ、萬難を排して、西伯利出動の廟議を決し、露國を救濟し、戰局の大勢を挽回せむことを期するもの洵に偶然にあらざる也。

◎帝國既に西伯利出動に決する以上は日本國民たるものは黨派の異同を問はず、官民の區別を論せず打て一團と爲り、協心戮力、擧國一致の實を擧げて最後の捷利と最後の成功を期せざる可からず。他無し帝國の西伯利出動は露國救濟の目的を達する所以にして、露國を救濟するは、聯合國をして獨逸膺懲の目的を達せしむる所以なれば也。帝國が此の出動と此の政策とは聯合國の後援と爲ると同時に、東邦の平和と世界の平和とに貢獻する所最も大なるものにして世界に對する帝國の崇高使命となれば也吾人は我が國民が帝國の世界に對する使命を自覺し、國論統

◎國勢調査評議員會

既報の如く國勢調査評議員會第一回は十九日午前九時より總督府第一會議室にて開會國分、宇佐美、古海、小原、關屋、入見、久水、秋田、大塚、市川及李完用伯趙重應子の各評議員及工藤國勢調査課長田中同事務官等參集調査に關する諸般要務に就き協議する處あり正午散會せり

◎長官會議流會

例の長官會議定例日なるも別項國勢調査評議員會開催の爲め流會となれり

◎出兵と石炭界　影響は良好

石炭は夏期不需要期となれる爲め需要も減少し塊炭は向價格下押しを見るに至らざるが所謂粉物に至つて需要の減退著しく各方面共漸次貯炭增加の傾向あり從つて市價も多少下押しを免れざる有樣となれるが併し概して云へば炭界の現狀は先づ保合商狀と見て大過なかる可し而して若し出兵實現の曉に於て果して如何なる影響を受く可きやは炭價が時局以來異常の騰貴を告げ居れるだけに相當注目を惹く問題なる可し右に付き當業者の觀測を聞くに從來日清日露兩役の經驗に付て觀るも出兵は當然炭界に好影響を齎す可し即ち我國に於ける炭價變動の一原因としては海運賃の關係甚だ重要の地位を占め居り若し出兵の實行と共に同方面に或る程度の船腹徵發さるゝに於ては必然それだけの船腹缺乏を生じ爲めに運賃益々騰貴す可く其影響は實に炭價の上に及び或る程度迄の騰貴は之を免る能はず殊に時局以來一般工業の勃興に連れ石炭の需要は著しく增加したるに拘らず一方之れが供給は工夫缺乏等にて出炭思はしからざる爲め到底其れに應する能はず殊に本年度の如き夏季不需要期に於てさへ殆ど剩餘を生ぜざる程に逼迫を告げ居るを以て若し出兵と共に同方面に對する需要增加するに於ては其の不足程度も益々大きくなり從つて炭界に齎す影響は極めて良好なる可し併し若し船舶管理令に依り運賃暴騰制止され又は炭價調節の實行に依つて炭價を制限さるゝに於ては此の限りに非ずと

◎西伯利出兵當然　帝國の執るべき態度　松平上院議員談

哈爾賓並に滿洲各地の視察を終へ十八日夜入京せし上院議員松平東拓理事の談に曰くハルピンには二泊せしのみなりしが同地有力者より頻りに

▲帝國出兵　の必要を力說されたり聞く所によれば東部西伯利に於ける獨墺の俘虜は約三萬あり又西部には二十餘萬人屯在せる由にて氣勢侮るべからず今日に於ては滿洲里方面のセミヨノフ軍並に浦鹽方面にチエツク軍あり哈爾賓方面の如きも逆に獨墺禍の侵犯を受くべしと思はれざるも形勢の變化如何により近き將來に於て獨力の東漸に際會し

▲東亞の危機　を切感するに至るなきを保せず故に此際聯合國と協調の上相當の兵力を浦鹽方面並に哈爾賓方面に出動せしむる事は重大の危機を未然に防ぎ東部西伯利に於る秩序の保持上又帝國の自衛上必要なるべく予等は此の意味に於て目下傳へられつゝある日本の西伯利派兵の必要を認むるに躊躇せず事實此の機會再日を空しくせば悔ひても猶は及ばざる事態に立到らん

▲滿洲の將來　滿洲各地は大正元年視察後再度目の巡歷なりしがその各方面に於ける發展の活氣橫溢せるには意外の感をなしたり唯滿洲の現狀は未だ諸種の點に於て建設的の時代にありと云ふを當れりとすべきが地域の廣大並に工業原料の豐富勞力の低廉石炭の多量なる等の點より見るもその將來は愈々有望ならん

◎鮮米買付に就て　生田商工課長談

今回鈴木商店が農商務省の旨を受けて朝鮮米の買付を爲しつゝあるかの如くに流說せられ鮮米界の前途暗雲の掩へるかの如くに思惟されさなきだに人氣騰貴の米價を釣上げんとするは遺憾に堪へず若し事實在米の不足を來す如き事あらば由々敷大問題たらざるを得ず當局に於ても此點に關しては

▲精密慎重の調査　を怠らず現在事實上米價は上向きつゝあり斯く人氣險惡となれる原因を考ふるに第一農商務省が朝鮮米の管理を行はんとし鈴木商店をして五圓の補給を爲して鮮米買占をも行はしめつゝありとの說大に世上を騷がせたる事と第二出兵問題の事實として現はれたるに依る而して出兵の結果は軍用米を朝鮮に仰ぐと爲し一層

▲在米不足を氣構　へたるに依る可し然も之はあまりに神經過敏の沙汰と云はざるを得ず倉中の消息を知らば甚しく思ひ半ばに過ぐるものあらん元來朝鮮米の移出力は昨年の收穫高一千二百

▲此上騰貴せしむる　は抑から憂慮す可き處にして七月三日朝鮮總督の名を以て農商務省に交涉せる結果政府より朝鮮米管理を行はず指定商の買付は直ちに中止せしむ可し今後に於ても政府は朝鮮米を管理の下に置くの意志無しとの回答到著し現に此回答は實行されつゝあり鈴木の旨を受けて來鮮せし買付役小西某も近く退鮮の筈なるやに聞き及ぶ

▲曩に農商務省が　米を管理せんとしたる意志も在米を適當の方法を以て調節せりと見れば政府は朝鮮米を内地に移入するは双方の爲め利益なりと思惟したるも政府が公然斯くの如き事を行ふ意ありとすれば人氣は益々激昂に及ぶやも計り難く

◎清會線營業近況

清會線六月の運輸收入は一萬二千八百八十三圓にして之れを前月に比すること二千八百七十三圓の減少を示したれ共前年同月（清津會寧間營業）に比する時は五千○三圓の增加を示せり而して前者の減退は元來六月より九、十月の間は端境期に當る農産物の移出期に際會し且つ又鐵道南北二線共に比較的閑散なる時期なるも未だ何等見るべき商工業地を有せず凡て調出農産物の外特種物資の輸送に乏しき上線に於ては殊に此間著るしく影響を蒙るに至りたるに依るものにして後者の增加は清會間全通に依る線路の延長に伴ふ當然の結果なるべし旅客貨物別の運輸狀況を示せば

▲旅客運輸　を見るに乘車人員九千三百二十八人收入六千○十五圓にして之れを前月に比するに二千百三十六人一千三百六十圓の減少なれ共前年同月に比すると一千六百三十四人二千五百八十一圓の增加を示せり而して前者の減退は前述の如き理由に依るものにして後者の增加も亦上記の關係に因るものなり雖も其の增加率は比較的少き方にして一日一哩平均收入に於ては反つて前年より十一錢の減少を示せるもの、如し

▲貨物運輸　を見るに鐵道用工事材料及局用品を除き發送噸數二千四百七十七噸收入四千九百八十五圓にして之れを前月に比するに一千五百六十五噸二千六百二十四圓の激減なれ共前年同月に比するに二千百二十五噸一千四百九十五圓の增加を示せり而して前者の減少は前述の通り夏枯れの爲なりと雖も尚本線唯一の物資需要地たる間島に於ける穀類の品薄を告げたるのみならず昨年來輸出の好氣配を當込み思惑輸入多量なりしと銀塊相場暴騰に伴ひ吉林官帖下向の現象にあると一方輸出に依りて得たる農民の金錢は概ね之を土地の買收に投資せられし爲め輸入物資の賣行捗々しからず依然として過渡少なかりし等の關係に依り斯の如き不振を呈するに至れるもの、如く尚又後者の增加は旅客運輸と同じく一日一哩平均收入の比較に於ては前年よりも六十六錢の減退を示せり

十二萬七千石にして昨年十一月より本年六月末日に至る移出米合計百四十三萬三千百八十四石にしてその内輸出の分は輸出制限令により前年より減少し

▲十五萬八千九百　五十石に止まり殘り百二十七萬四千二百二十九石が内地移出米なり而して今後の輸移出見込は大體に於て八萬石の豫定にて合計概ね四十萬石を出でざる可き筈なり又本年七月一日現在の調査に係る朝鮮主なる開港地仁川、群山、木浦、大邱、釜山、馬山、鎭南浦、新義州、元山の九港に就き其在米量を

▲玄米に換算した　るもの約二十二萬五千石あり之を昨年七月一日の在米量二十萬石に比し二萬五千石多き勘定なり即ち輸移出米見込數量は今後の地方の需要米を差引たるものなり其内現に農商務省支配の下に鈴木一派が買付たりと稱する數量は約十二萬石と唱へられつゝあり普通の場合に於ての鮮米内地移出狀況を見るに

▲昨年十一月より　本年六月迄毎月十四五萬石平均なりしも十二萬石以下に降りし月なし然るに鈴木の十二萬石買付と稱するも平均毎月十四五萬石移出以外に十二萬石を買付けたるに非ずして今迄其々の手にて移出されつゝありしものが鈴木の手に移動したるに過ぎず重複する事なきなり此十二萬石以外の移出見込に就ては目下調査中にて數字を明示し難けれど

▲蓋し何程の事も　無かる可しと信ず可き理由あり農商務省の支配せる鈴木の買付なるものは以上に見て左迄過大の量とは見る可からざるも此の買付けにして繼續す可きに於ては米界の恐怖を來さずとも限らず總督府としては普通の狀態に置くも内地の米價を刺激するの氣配にあるもの出兵等にて人爲的に鮮米の管理を行うて

鮮米界に恐慌を來すは策の得たるものに非ず實は之を憂慮し居る位なり此の如き米を定商として秘密に之れを行はんとせしも鈴木が

▲仁川に手を著け　しより問題は遂に今日の如くなりしのみ當局は買付の狀況を稽ふるに商人は農商務當局の支配以上に其指圖に依らずして之を利用したる形跡は之無きに非ず然れども問題は既に當方の申出と政府の回答にて落著せるものにして買付たる十二萬石も全部内地へ回送されたるに非ず大部分は未だ朝鮮内に在り相場は實に無用なる可きを斷言す斯かる誤の浮說されてより、

▲最も憂ふ可きは　之が爲め米を出し澁る者あるの虞あり殊に都會地は其日の居用米に不足を來す恐れあり内地人の大農者乃至拓殖の如きは既に在米を賣拂ひたるも朝鮮人側には所有米も斯くの如き事情を聞きて一時先商を見込みて買ひかへ居るものあらん恐らくは四圍の情況に見て永續はせざる可し

▲中止陳情　商業會議所側より　内地米價調節の爲め鮮米の買付は之れ何れ、あるは是れ朝鮮住民の利害に關する近來の大問題なりとして京城商業會議所は十八日役員會を開催したる事は既報の如くなるが十九日午前町本副會頭及び大村書記長は總督府に山縣政務總監を訪ひ買付禁止に關し陳情す可き筈なりしも恰も當日は第一回國勢調査評議員會開催日にて政務總監は同評議員として出席し居り小原農商工部長も同じく同會に出席し居り會議の時間なく結局兩氏は生田商工課長を訪ひ今回の鈴木一派の買付を陳情し政務總監並に農商工部長へ右の旨傳達方を乞ふ所あり生田課長の意見をも聽取して退出したり

◎城津黑鉛近況　價格下落と大縮少

昨年來黑鉛の價格暴騰し之が爲め城津の發展著しきものありたるが本年春漸次價格低落を告げ暴騰時の約半價格となりたる爲め黑鉛業者の困難は勿論一般商家の打擊少からざる狀態にあるが本年に入りて二十三箇所の工場に於て精鍊したる黑鉛の數量は五百十五噸此の價格一噸六百十圓と見積れば三十一萬五千三百六十圓に達せしが之が取引を了したもの僅に七十噸四萬二千四百圓に過ぎざるのみならず昨秋來本年解氷後の時越を見込みて設備費二十餘萬圓に上り各當業者の困難一方ならず何れも價格の調節に苦心しつゝあり三十二箇所の工場中五工場は採掘を中止し其他は約五割方の縮少をなせし模樣なり

◎上半期朝鮮貿易　前年より好績—異數の增進

總說　本年上半期の朝鮮貿易は金銀地金に於て不振を呈したるも貨物に於て著るしき盛況を示せり即ち貨物に在りては輸移出五千七百九十二萬餘圓輸移入六千七百十三萬餘圓合計一億二千五百六十六萬餘圓にして前年同期に比し二百四十四萬餘圓の入超過にして前年同期に比し二百四十萬餘圓の入超增加を示せり要するに本期の貿易は前年の趨勢に一歩を進めたるものにして僅々半箇年間に於て既に三年前の大正四年全年の貿易額を凌駕せるが如き盛し異數の進展なりとす就中貨物貿易に於て輸移入の四割九分の增加に對し輸移出に八割七分の增進を示せるが如き驚く可き產業の

▲同期に比し　輸移出二千百六十七萬餘圓（八割七分）輸移入二千二百四十萬餘圓（四割九分）合計四千四百八萬餘圓（五割四分）を激增し（二）金銀地金に在りては輸移出三百十七萬餘圓輸移入二十三萬餘圓合計三百四十萬餘圓にして前年同期に比し輸移出百五十八萬餘圓（三割三分）を減少せるに拘り輸移入十二萬餘圓（十一割九分）を增加せるに拘はらず結局合計百四十六萬餘圓（三割）を減退し（三）以上貨物及び地金銀を合算せる貿易總額は輸移出六千百十萬餘圓輸移入六千七百九十七萬餘圓合計一億二千九百七萬餘圓にして前年同期に比し輸移出二千八萬餘圓（四割九分）輸移入二千二百五十三萬餘圓（約五割）合計四千二百六十二萬餘圓（四割九分）の著增を示せり

▲權衡を見る　に貨物の貿易に於て入超九百八十萬餘圓を計上せるも地金銀の出超二百九十三萬餘圓を混せるに依り結局六百八十七萬餘

▲發展の消息　を語るものにして同時に貿易の權衡が漸次入超より出超に轉ぜんとするの前兆なりと稱するを得べし顧ふに本期にありては歐洲交戰國の海陸運輸の逼迫、米國の輸出制限及米國輸入制限品目の擴張等直接間接に消極的原因の影響を蒙りたるものありしに拘らず（一）朝鮮半島產業就中鑛業、綿絲業等の發達（二）各種起業の進捗（三）一般の購買力の增進（四）日本海橫斷航路の開始（五）清會鐵道の開通（六）内地間穀物運賃の引下（七）内地事業界の旺盛（八）銀價の好影響等内外積極的原因相俟つて如上貿易の增進を促がせしのみならず一面

▲出入を通じ　て物價昂騰の貿易價額を膨大ならしめたること亦與りて其因をなせるなり尤に地金銀の移出不振を呈せるは移出金地金の減少に基くものにして金鑛業は近年時局の影響により藥品及び勞銀の昂騰等生產費著るしく增加せるに拘らず他の物品と異なり價格は殆んど固定的のものなるに依り採掘精鍊共に不引合たるを免れず爲に小規模の金業者の事業を中止せる者多く結果產金額の減退を來せしに職由す更に出入貿易の增減に於て如上金地金の移出不振並に企業界の旺盛に基く諸器械及び建設用材料の輸移入增加等之が主因をなすものにして前者は時局に伴ふ

▲一時的現象　に過ぎず後者は將來の產業開發上に資するもの所謂資本の流入なるを以て深く憂ふべきの現象にあらざるべし

▲輸移出重要品　輸移出重要品中增加の著るしきものは米、小麥、魚類、紅蔘、綿絲、銅塊及び錠牛等にして減少の主なるものは鐵礦、金銀粗銅、牛皮、皮革製品等なり

▲輸移入重要品　輸移入重要品中增加の主なるものは粟、小麥粉、砂糖、生金巾類、日本木綿、紙類、鐵鋼、帆條及同附屬品、諸器械類、石炭、木材及セメント等にして減少の著るしきは綿織絲、支那麻布、絹織物、皮革類、煉瓦、爆發物等なり

◎解合後初相場

仁川期米取引所に於ける紛擾の解合成立後連日場立ちは見たるも出來不申を續けたるが十九日解合後の先限り取引を見たり而して相場は硬調を呈し二十三圓五十錢に寄附き高値二十四圓七十錢止め二十四圓四十六錢にして立合停止當時の寄り附きは二十一圓九十二錢なりき

殖銀設立彙報　▲千二百萬株　既に百二十倍

朝鮮殖產銀行株式の申込は豫期の如く非常の盛況を呈し十九日正午までに殖銀設立事務所に達せし報告によれば内地十七日までの分朝鮮及滿洲十八日締切までに於て一千百八十三萬三千百四十九株の多數を示し内朝鮮内に於ける發起人申込み五萬三千餘を差引き公募株數に對比すれば實に百廿餘倍の多數に達せり尚内地十八日の申込みは非常のものなりしならんとの豫想に付其結局の申込みは二千萬株を超ゆ二百數十倍或は三百倍を超過すべしとの豫想を唱へられ居れり

▲鮮滿の申込　十八日締切りたる殖銀募集中朝鮮内の申込數は尚ほ報告未著の者三四あれど概數百七萬三千六百十一株にて公募株數の十二倍に達せるが最も申込みの多きは朝鮮商業銀行の二十三萬五千株朝鮮銀行本店の十八萬株にしてその他四五萬株の取扱ひは多數ありたり又滿洲は約十九萬株にして内鮮銀大連支店の取扱ひは十四萬株を超ゆべしと

▲内地大口取扱　十九日朝までに達せし報告による内地大口申込み取扱ひの内容を聞くに大阪藤本ビルブローカー四百二十八萬株竹原商店二百四十一萬二千株山田ビルブローカー百八十二萬株となり居れるが東京の主要取扱商店よりは未だ報告來らざるも紅葉屋商店其の他の取扱ひでは甚だしく多數ならんと

▲優先株申込　現在殖銀株主に與へし優先株の申込は五萬六千餘株なるが十八日までに五萬四千株の申込あり尚ほ二千株程の差あり但し報告未著の店もあるに付二千株分の株主が優先權を拋棄せしものとは見能はざるべしと

◎咸永間工事著手

咸鏡線永興咸興間鐵道工事狀況を聞くに第三工區は既に著手せしが第四工區のみは準備の都合上著手するに至らず尤も此程現場監督員等全部現場に向ひたれば近く著手すべしと

◎特用作物狀況

京畿道管内に於ける大正六年中の在來棉、陸地棉、煙草其他特用作物に關する收穫高狀況を聞くに左の如し

▲在來棉　作付反別一千六百一町一反に對し八十七萬六千四百六十三斤の收穫あり即ち一反步收穫高五十五斤の割合也

▲大麻　六百三町の作付に對して八萬六千八百四十一貫の收穫あり此の一反步當收穫高十四貫餘

▲苧麻　五反の作付に對して四十六貫の收穫あり一反步當り收穫高九貫餘を算す

▲荏　一千四百二十四町一反の作付に對し八千六百九十八石の收穫あり此一反步當り收穫高六斗一升一合の割合なり

▲胡麻　四百五十一町九反の作付に對し二千七十九石の收穫あり此一反步當り收穫高四斗六升を算せり

▲莞草　三百六町三反の作付に對し九萬五千百九貫の收穫あり一反步當り收穫高三十一貫餘なり

◎青山島漁況

全南青山島に於ける漁業狀況を聞くに客月十日頃より漸次漁船入込み十七八日頃內地人漁船約百五十隻其他に鮮人漁船約一割にして盛漁期は通例二十日頃なるも本年は例年に比し出漁船激增せるも漁獲物は寧ろ之れと反比例し一般に不景氣なり旬日の内大漁を見る能はざれば何れも引揚ぐるに至るべし今度近年月間に於て水揚せる總額は一萬六千二百六十二圓漁具は巾著及び流し網漁數四百六十九隻漁夫三千二百八十七人漁獲物は生及び鹽乾として汽船又は發動機船其他にて仁川方面に委託せられ

◎嘉納副總裁挨拶

鮮銀副總裁は十九日も引續き不破秘書役の案内にて新任挨拶のため各方面を歷訪す

◎一高學生入京

第一高等學校[illegible]一行三十二名は十八日夜釜山より入京し十九日午前九時總督府に[illegible]總務課長の案内の下に府内各所參觀の後總督官邸に赴き同邸を參觀せり

『群山』

▲有松長官來群　有松拓殖局長官は全州を經て十七日午後五時二十分著列車にて來群停車場には官民多數の出迎ひあり天野府尹の先導にて精米所其他要所を視察し夜は料亭花月に開かれたる官民主催の歡迎會に臨み旅館に一泊翌十八日一番列車にて大田に向ひたり

▲川崎氏授賞　全北沃溝郡臨陂面川崎農場主川崎藤太郎氏は曩に[illegible]小學校建設に際し敷地全部を寄附し又面事務所として建物を寄附する等公共の爲め盡す處勘からず今回賞勳局より銀盃一組を下賜さる事となり來る二十一日府廳に於て道長官より傳達の筈

▲群山米輸移出額　大正六年十一月以降大正七年三月に至る六ヶ月間に於ける群山港輸移出米總數量は三十一萬九千零四十二石にて内大阪に仕向けられたるは米十五萬七千八百四十九石、白米六萬六千三百零二石なりしと

□電報延著

東京方面よりの電報は何れも延著本紙締切に大部分達せず締切後著の分は明朝刊に掲載すべし

人事消息

▲木原鮮銀京城支店長　十九日朝[illegible]
▲藤本東拓[illegible]　同上
▲西島東拓沙里院出張所長　十九日朝入京
▲須藤江原道第一部長　同上
▲木本京畿道事務官　[illegible]に出席の爲め十八日夜發來上

茶前酒後

◎一時決河の勢ひにて押寄し西部戰線の獨軍も目下は寂寞を[illegible]

◎[illegible]

大正七年七月一日改正現行　[illegible]

◇東宮殿下に獻上の鷲（左）と濟尾宗太郎氏（右）

◎敵は獨墺俘虜で

―兵力一萬五千兵器も完備す

東宮殿下に獻上の鷲を携へて東上した濟尾氏語る

武報東宮殿下に獻上すべき西伯利亜の鷲を携へたる濟尾宗太郎氏は十九日午前八時京城通過東上したるが其談に曰く『セミヨノフ軍は目下司令部をナヂリヤに置き盛んに活動して居るが近く敵の主力を驅逐して

◆ボロワンナヤ（滿洲里から九十里）を占領する見込みである兵數は五千であるが其の内譯は哥薩克千五百ブリアード千五百、蒙古人千、支那人五百、日本義勇兵五百で一見烏合の衆の如く見らるゝが仲々秩序立つてゐて武器なども精鋭なものを持つてゐる敵は重に

◆獨墺俘虜で兵力約一萬五千と註され兵器も機關銃野砲山砲重砲などを有し二臺の飛行機をさへ飛ばして居る程であるから兵力と言ひ兵器と言ひセ軍に比して優勢であるが只敵軍には兵站が續かず彈藥の補充の途が無く内訌が激しいためセ軍に比して約三倍の兵力を有して居りながら何時も頽勢にある、敵の

◆飛行機は偵察用で爆彈投下はしないが時々三國志的のペテンを使ふのでセ軍では非常に憤慨して居る最近も敵軍から軍使を飛行機で送るから砲撃しないやうにと言つて來たので飛行機が陣地の上に飛行して來ても默つて居たところ無禮にもセ軍の頭上を往來した後降下するかと思ひきや機首を北に向けるや否や爆音高く響かせて逃げ去つた事があつた、卑怯な振舞だ

◇セミヨノフ軍も飛行機が欲しい

それならば此方にも覺悟あるとセミヨノフは地團駄踏んで憤慨した事があつたが、それやこれやで今度私が東上の機會を利用して二臺の飛行機を貰つて來る事を依頼された、日本の出兵問題も漸く具體化されこしつゝあるが米國などでは疾から武器彈藥を送つて種々な事を企らんでゐるが今度の

◆チエック軍なども日本の先手を越して後援しやうとした程だから仲々油斷がならぬ、日本では非常に遠慮して居るやうだが遠慮も過ぎると却つて馬鹿にされるもので現に日本の義勇兵が勢威を張つてる滿洲里や哈爾賓の東方にあるポグラニチナヤなどは

◆日本人の勢力は大したものであるが腫物に觸るやうにして居る哈爾賓ではカラきし日本人の勢力を認めて居らない此れを見ても日本出兵は一時も早く斷行せねばならないのである

◎河内爆破 形跡判明

軍艦河内爆沈の原因は十八日大阪の海軍工廠に於て調査の結果石油タンクの爆破せる形跡判明せり（大阪特電）

◎義勇兵とて放埒は許さぬ

無暗な野心は起さぬがよい

◇稀めて歸るものもある

セミヨノフ軍に於て日本の義勇兵を盛んに募集し現に五百名以上從軍し居る報傳はるや滿鮮各地の青年中には從軍を熱望するもの砂からず最近に於ては益々白熱的に高潮し來り現に本社宛に

◆照會し來る向も砂からず

◆眞劍な戰爭に從事する目的の無い者は野心を起さず常道を履んで居る方が宜からう』

◆國家的に眞面目な考へを持つて如何なる惡戰苦鬪にも堪へ得る人ならばいざ知らず只月給

◆何人が義勇軍の經營者であるか、月給は何處から出るか

◎イ監獄に七十三名

◇邦人四名病む

脱獄した露婦人語る

イルクックの監獄にありし露國婦人カプスチナカルニヤフ十五日哈爾賓に落ち延たるが同婦人の談に據れば獄舎にありし七十三名の中邦人三名日本人四名の他は自衛軍將校にして反革命の罪名を以て收監されたるものなるが十三日市内

◎獨探首魁の關係者

輕井澤へ避暑の名で入込む

◇米國へ歸す事も出來ぬ厄介な代物だ

日本人は彼等に敵愾心を持たぬ

出兵問題が喧しくなつた一方重に河内爆沈の原因が疑はしいなどで獨探嫌疑は又も嚴密な度を加へて來た、外事警察も警視廳も其他各地の警察も多人數の外事係りを配置して外人の行動偵察に目も之れ足らざる有樣である、殊に本縣輕井澤は目下

▲避暑の爲に外人の入込むもの千名を超ゆ就中獨逸人は百名以上來てゐるばかりでなく曾て日本から退去命令を受け支那に於ける獨探本部の首魁として活躍しつゝある某獨逸人の關係者などがあるので中央でも注目を怠らず就中地元の本縣警察の活躍は目覺しい程である、之に關し輕井澤には出張し歸りたる小林高等警察課長は語る『輕井澤に於ける是等

◆獨逸人の行動は餘り出歩く事もなく表面には先づ平靜を裝つて居る一體日本では官憲警察全部獨逸人を國外に放逐しなかつた事が誤りであつ

▣厄介もの と云はねばならぬ、目下輕井澤に於ける外人同志の容子を見ると英米佛其他聯合國人の獨逸人に對する敵愾心は非常なもので獨逸人など途に行逢つても語を掛けない獨逸人の方でも又見向もしない只彼等の仲間だけの交際をしてゐるだけである其

たから知れない、今になつて見れば彼等を本國に歸らしめる事は夫だけ敵國の勢力を増さしむる事でもあり又國狀を敵に知らしめる事にもなるから歸ると云つても歸す事は出來ないので實に

◆日本人は態度が大きいといふのか何うか知らぬが獨逸人だからとて特に取扱ひを別にするといふ事はない挨拶もするし談話も交換し殆ど平時と異ならないので獨逸人は非常に悦んで居る、米國では此商米國の船がツエッペリンの爲にやられた時に國民が在米獨逸人の家を叩き

●連絡船上陸客

◎長門艦 進水遲れん

河内爆沈の影響

爆沈せる河内の狀況調査は擁重技術部長及び野中與工廠造船部長以下帝國海軍の権威に依りて目下鑑定をなしつゝあるが幸ひにして引揚げ得ば爆爆山にて應急修理の上吳に曳

▼大修理を行ふこと、なるべし若し引揚げ不可能の見込みならば解體して吳に運び更に原型に組立つるに由なり而して河内の大修理を吳工廠にてなすことに決せばさらでだに職工補充の都合甚しき門の工事大遲延せること、て長門

▼進水式を一箇年若くは二箇年の延期申請みなすべしと現下の海軍に於て河内の修理が少から打撃なるは言を俟たず延いて長門の工事竣成期は大影響を及ぼす帝國海軍の勢力維持上誠に重大事といふべし

◎太刀洗飛行場工事

著手は本年秋

久留米新聞に所載の太刀洗飛行場問題に關し第十八師團長は語つて曰く『太刀洗飛行場の設計決定は元來式に言へば土地買收の手續から先に濟ましたる後に

◎廿二錢

騰る丈け騰つた

もう下るだらう

目下京城の白米小賣相場は十九日又復一錢方値上し一升三十二錢を唱ふるに至れり値上の原因は時局の爲めさせるも直接の原因は在米不足の結果なりこれば此上奕騰するだけ騰つた上の事なれば此上奕騰するの値上はあらざるべしと云ふ人筋は觀測せり

◎火藥所敷地測量

愛知縣武豐町

重要なる火藥製造所建設の爲め政府は適當の敷地を選定中愛知縣知多郡武豐町に敷地を發見し三井技師出張測量せり（大阪特電）

◎土用前の天候

京仁地方は雨

久しく打續いた霖雨は十七日頃より歇み十八日俄にカッと照付けて如何にも夏らしき暑さを感ぜしめ愈々天候の回復を稿んだるが同日晝頃により再び天候の安定ず候は大氣に變化あり同時に京仁地方は雨

◇紙上寶探 愈本廿日限締切◇

▼安東縣公會堂（十九日午後七時より）

▼安東縣小學校（廿一日午前九時より）

讀者文藝（俳句作者に對する入選發表の

▲物はつけ『縮かぬものは』

◎縮かぬものは一日一錢の一厘

◎關釜の遭難

慶北九龍浦にて

慶北迎日郡九龍浦港にては去る十二日午後一時頃より颱風に襲はれし港内に碇泊中の漁船四百五十九隻は難破し或は沈沒したる等其損害夥しく

西鮮お伽旅日記（八）

◇鎭南浦◇

緩衝機

不愉快な車掌語

黃金町 高岡生

商況

東京期米特電

兵庫期米特電

立會停止

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

立會停止

下關期米特電

雜報

◎綿糸布漸騰

◎米棉二圓高

◎三銘先物十一圓六十錢

◎解合後朝鮮内追々活氣附きつゝ

◎銅眞鍮類昂騰

◎罐詰見送り

◎梅漬豐作軟味

引上げた 約二圓方

◎正米愈々棒立

◎内地麥類強硬

◎小麥

◎麥安

◎白米又新高値

引上げ更に五十錢方

小賣値は又一躍

一錢方の値上

一等三十二錢

◎鮮白も又昂騰

各地商況

釜山穀物市場

仁川期米

▲十九日前場（暴騰）

更に七十錢

落ちて三十九錢と瓦

高値に暴騰

硬の成行を示し

亂調子の裡に強

仁川正米

南大門廻穀

生魚市場

市場雜觀

大暴騰し三十錢方

四圓七十錢

正米の狂騰は愈社會の大問題

官命停止の大阪は遂に

▲期米大暴騰

注目すべき今後の經過は大

仁川米穀取引所

十九日の九月限

白米小賣値

白米標準値

食料品卸相場

叺繩莚 穀物及石油肥料 米穀商 箕浦商店 大田本町三丁目 長電話五二番

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川期米

天氣

雨後曇

[illegible] 十九日の九月限

佐藤元氏燒死 十九日午前三時四十分 [illegible]

次は新義州小學校 (二十一日午後[illegible]時より)

大連怪火事件と保險界の問題

◆漸く折り合はんとす◆

滿鐵大連埠頭野積貨物に火災頻發せるを以て契約十五火災保險會社は協議の上契約解除を爲したるが其の後保險復舊に就き滿鐵會社及荷主側より保險代理店三井物產に對し交渉中なりしが十五日三井本店より大連支店に對し各保險會社協議の上滿鐵大連埠頭野積貨物保險契約復舊條件として

一、野積貨物價額七割五分を保險會社負擔とし殘餘二割五分を荷主の負擔とす

二、保險料は千圓に付き一箇月七十五錢とす

の二項を以てし右は野積貨物が火災頻發の危險時期を脫せるものと認めざるを以て一時的契約として此の契約は大正八年三月末迄とし三月以後は改めて契約を締結すべしとの申込みなるを以て目下の處保險にて重大なる危險に曝露せられ居る際の事とて滿鐵始め荷主は大いに悦び條件中二割五分の負擔は滿鐵が出火の責任上何等かの形式の下に負擔すべく料金は從來の千圓に對する四十錢を七十五錢に引上げたれど保險會社としても多大の危險を冒しての契約なるを以て料金の高率なるは止むを得ざる次第なれば荷主側にても之れを諒とし二三交渉を重ねたる上多分近日中に保險復舊せらるべしと觀測せらる(大連)

豐稔と採鑛で賑はふ宣川邑

◇細民が少い 平北宣川郡內には比較的細民が少い一般に生活程度が昂上して總ての購買力は著るしく增進してゐる一例を擧げて見ると田舍の百姓連で從來佃類は壞

農業の振興と中心的人物

慶南道長官 佐々木藤太郎氏談

左に揭ぐるは過般慶尙南道矯風會晋州支部總會の際佐々木慶南道長官のなしたる演說の大要なり(晋州)

予は大正二年慶南道長官を拜命し着任後道內各郡を巡視せり而して其の當時の狀況に徵するに本道の土木產業教育衛生其の他諸般の事業は官廳に於て如何に努力進步を圖らんとするも民間有力者に於て相呼應するにあらざれば到底其の効果を收むる能はざるべきを察し大正三年慶南矯風會の發起を企圖し郷約を創設したるが之れが實行に當りしも其の效果理想の如くならざりしは一に其の役員に中心人物を得る能はざる事情ありしが爲なり蓋し風俗の改良即ち矯風事業の如きは不可能事にあらずと雖も中心人物の努力に依らざれば容易に其の目的を達する能はざるべし而して元來本會の如きは敢て新規創始の業にあらず遠く支那に於て

◇周代管氏の郷約◇

の行はれたるありて朝鮮に於ては中宗の朝己卯十四年中に[illegible]趙光祖及び[illegible]の學者[illegible]俗を成すは郷約より善きは莫しとの建言に依り郷約法を行はれたることあり又孔子の溫古知新を說

魚ですら食膳に上したことの無い家庭でも現今では一寸旅行して何處の家に行つても膳肴はある、又粟や大豆、麥杯を食してゐた連中も此節では米飯を常食とするものが餘程增加の傾向を示して來た此が原因は何であらうか言ふまでも無い、二箇年連續の豐穰と昨年累餘界の旺盛であつた結果と言はなければならぬと某當局者は語つた

◇宣川驛貨客 京義線宣川驛客年中に於ける貨客の狀況を見るに昇降人員十二萬三千八十四人、入場客一萬千二百三十八人、手小荷物發送五萬八千九百十四斤、着荷九萬二千二百四十三斤、發送貨物九千九百五十九噸、着貨物一萬五千五十五噸にして內發送貨物の重要品は大豆、鑛石、黑鉛、鉛、麥、雜穀等にして着貨物は食鹽、金巾、綿布、紡績、絲、黑鉛、石炭、木材等にて逐年增加の傾向を示してゐる

◇宣川の人口 平安北道宣川邑內の人口は內地人百五十戶(五百二十人)鮮人千二百十六戶(六千二百四十六人)支那人三十二戶(九十九人)米國人七戶(二十九人)合計千四百十一戶(六千八百九十四人)

◇旅館藝酌婦 內地人旅館は海東館外二軒、料理店二軒、藝妓四人、酌婦五名あり(宣川)

農事の講話

左に揭ぐるは過般忠州に於て開催せられたる農事講話の大要なり(忠州)

一營農四要訣

宮本技師

歐米各國は目下食料問題に關して多大の苦心を重ねつゝあり英國農相曰く『今日の戰爭は人間と人間若くは武器と武器との戰爭に非ずして實に食料と食料との戰爭なり』と云へる如く獨逸の如きは食料に關し極めて周到なる注意を拂へり而して我が帝國は幸ひ戰禍の圏外に立ちて農民は農事に勵み得る幸福を有せるを以て農民は此際一層農事に精勵して改良の實を擧ぐべきなり農事經濟に對して積極

けるあり然るに朝鮮に於ては溫古知新の道充分行はれざりし結果社會進步の狀況甚だ遲々たるを免れざりしなり彼の世界の三聖と稱せらるゝ孔子釋迦基督の中孔子は他の二聖の未來に重きを措きたるに比し其の學問を

◇最も實際的に主唱◇

せられ所謂『生を知らず何ぞ死を知らん』と言へる如く最も現世主義にして溫古知新は實際に於て行はるべき事業を遂行せんことを欲せられたり內地に在りては孔孟の學を修め如何にしてか之を實際的に換言すれば實學たらしめむとする目的を以て之を講究したる人あり即ち

◇山鹿素行の如き是◇

なり然るに前述の如く世界三聖中孔子は實際的學者なるに其の國たる支那文明は却つて實際に遠ざかりて之に反し理想的なり!非實教の如きは稍々實際的に行はれ今日の世界を指導するに至れり是れ即ち政道其ものゝ罪にあらずして其興

的收利を得んと欲せば左の四項を記憶すべし(一)土地を遊ばすな(二)肥料を施せ(三)勞力を厭ふ勿れ(四)儉約して得る所の利益を以て農事改良の資に充つる事是れ也

果樹の適地

久次米技師

予は十有三年間果樹を殆んど專門に栽培せしが研究の結果忠州の如き土地は最も果樹に適せり予は參考の爲め茲に果樹栽培の費用と收益とを數字に計上して其の如何に有利なるか尤も此の數字は最大の能率を示せるものにて何人が栽培を爲すも直に是丈の收益を見るものに非ずコハ幾多の苦心と研究の餘に成るを以て諸氏も充分なる研鑽を積み果樹の栽植に收利を擧げられん事を望む

◇新安州 京義線新安州最近戶口は內地人九十六戶(三百六十一人)鮮人百三十三戶(六百七十一人)支那人四戶(十四人)にして漸次發展の氣運に向ひつゝありと(新安州)

支那募兵成績

兩江巡閱使龍濟光は曩に安東縣に於て第一回募兵を行ひ既に三百餘名を奉天に向け輸送し引續き第二次募兵を行ひつゝありしが渾江地方に於て既に百五十餘名の應募兵あり又安東縣にても尙は二百餘名の應募兵あり右渾江の百五十名は江を下りて安東に上陸しつゝあれば全部の到着をまち再び奉天に向け安東募兵と共に輸送すべき豫定なり

滿浦鎭道路と交通

安州より熙川及び江界經由滿浦江岸滿浦鎭に通ずる道路の改修工事は江界間の竣工を見ざるも安州熙川間は既に開通し現時に於ては价川郡軍隅里を基點とし三日每に一回乘合馬車の運轉あり運賃は一里二十錢を徵收し居れり尙貨物運搬は牛車にて熙川江界間千二百斤積三十圓と

慶は全く後世

◇道を行ふ者の責任◇

に歸すると言ふも過言にあらず內地の實際に付いて之を觀るに孔孟の教に對しては日本的に之を咀嚼し之をして價値あらしめ又佛教を印度より輸入して印度以上に實際化し之を世に益し人を利しつゝあり耶蘇教も即ち日本の耶蘇教と化して世道人心に裨益する所大なるものあり之を要するに此道を充分に行ひ

◇長を取り短を捨て◇

殊に最近五十年以降明治大帝は當時の有識者に於て鋭意刷新を加へ世界の文明に後れざらんことを期したり結果今日世界文明國と角逐するに充分なる力を得るに至りたり然りと雖も內地の進步も亦必ずしも單純に之を得たるにあらず五十年前には朝鮮兩班儒生の如き階級即ち士族なるものありて

◇新舊思想の衝突を◇

惹起し西洋文明の取捨に付き政治上非常なる競爭行はれたるも幸にして其眼の士能く之を制し終に今日の隆運を來したるなり而して所謂守舊派革新派とも云ふべき人には其無氣力になる者もありしも只少數の者に過ぎず士族階級即ち兩班に於ける者より

◇中心的人物として◇

卓ら活動せしなり是に因て之を觀るも兩班階級が克く時世を洞察し共同一致努力活動せらるゝ在らば朝鮮も亦內地

本溪湖より

◇本溪湖は誰が何と云つても煤鐵公司の本溪湖である、同公司の事業の一進一退は直ちに本溪湖の進步發展となつて現はれて來る、と同時に公司事業の一退一衰は本溪湖の一憂一患となつて現はれて來るのは何も不思議はない、幾に公司が第二の熔鑛爐を增設するや其成績兎角思はしからず且つ熔爐が修理期を眼前に控てると云ふので公司員の憂慮は申すまでもなく本溪湖市民全部の心配は實に想像の外であつた。

◇處が調子の好い事には去月上旬から第二の成績が非常によくなつて來たので市民は愁眉を開いた公司員は申すに及ばず……而して市況は直ちに復活し各方面の活動に勢ひを增し信託會社は既定の事實とは云へ業務を擴張する增資はト

決定せり其他乘客自動車運轉の計畫もあれば近く此が實現を見るべく同地方の交通至便として經濟上から好況を呈へつゝありと

二百萬圓あれば廣梁灣を淩ぐ鹽田が出來る

◇平北水淸面の沿岸に◇ 平安北道宣川郡水淸面沿岸數箇所に介在せる面積千四百餘町步に亙り塩田として最も有望なる好適地ありて既に昨秋總督府水產課に於て精密なる實地踏査を行ひたる結果工費約二百萬圓を投資すれば優に平南廣梁灣塩田に數等以上の成績を收むべきや明かにして其の製品の輸送上亦海陸の便容易にして其の成功亦疑はざるなり然れ共總督府に於ては豫算の都合上未だ着手せられざるが一度投資家の現はるれば此が開拓經營を爲さんか同地方

と同樣の文明に至るべきや明瞭なり本會の規約の事項は朝鮮に於て行はれ來りしものを網羅したるものにして其の舊慣の弊風の至るは之を變除せんことを實に困難なるが如しと雖も方法宜しきを得ば敢て必ずしも

◇不能の業に非ざる◇

を信ず即ち本日出席せられたる諸氏の努力に賴らば之を矯正すること蓋し何等の困難なかるべしと思惟す又歐洲戰亂の結果最近內地の科學は非常なる進步を示し工業商業は世界的となり戰時の收利數十億圓を算するに至る又瓦斯の如きは夙に發達して其の收益數億圓に及べり是れ即ち

◇實際的活動の賜物◇

なり支那の如きは常に動亂連續し露國も亦意外の革命を惹起し世界を風靡したる大國も今日實に憐むべき國家と化したり其の結果獨逸勢力の東漸恐るゝものあるべきも

◇之れ只杞憂に過ぎず◇

ざるべし何となれば內地の陸海軍は之に對して充分なる活動するの準備と防禦力を有し何時にても活動するに足る以上の設備を有すればなり之を要するに以上の數百なる諸氏が克く協力一致し溫古知新を實行し本會の目的を達成し以て社會の進運に遲れざらんことを希望するに外ならず

ントン拍子に進む果ては近々滿洲商業銀行の出張所も出來ると云ふ有樣で實に素張らしい勢ひである乃こで本溪湖は何處までも公司の本溪湖であると云ふても強ち過言ではないのである。

◇安奉沿線の在嶺を始め山も野も悉く萩滿る許り高粱の畑は漸次繁茂し來りて風の間に間に波打つ樣は如何にも涼しい、此の時滿洲の天地は炎帝の威衝く暑しくなるのである、外は勿論の事內に居てさへ身の皮剝いでも尙は足らぬ樣に感ぜらるゝのであるが滿洲の視察は此の暑い眞最中の各市場とも閑散に向うて來た今日此の頃が一番の好期節である、故に視察者は案外に多く旅館は常に相當の混雜を見て居るのである。

◇處で鐵の本溪湖を見るべく來り報ずるものは決して少くない又商取引の爲め本溪湖へ來る者も決し

經濟界に及ぼす好影響亦甚大にして產業上に與ふる裨益少からず要は該地の踏査を行ひ其經營者の出でんことを望むものなり(平壤)

開城の學校組合

(開城) 開城は民間兩派に分れて事毎に紛爭絕ゆる事なく心ある者は之を憂ひて其調停に力を盡しゝも其効なかりしが調停者は既報の如く十五日學校組合會議員の改選せらるゝ機會を逸せず根本的の調停をなさんものと種々盡力したりしも到底兩派の和衷協同は望むべき模樣なきより、調停に當りし有志一同は調停の途を講ぜんことを議し愈々更に至つて陣頭に立つべきを宣言し選擧を爭ひ兩派を壓伏して然る後一人の單獨候補者を加へて全部當選し結局左の顏觸の人々組合會議員に當選したり(開城)

宮崎金藏、臼井永城、都築武助、中村勇之助、久野傳次郎(孤島候補)、石原恒四郎、水野通郎(以上調停者側)平谷太郎(單獨候補者)

安東財信

安東と支那埠頭

安東開港と共に鴨江下流の繫船に利便なる位置は多く內地人居住地域の地先となり支那側は之れが爲め多大の不便を感じつゝありしも遂に今日迄何等なす處なく經過し來りたるが最近安東市勢は激に好況となり市場は常に大活況を呈し木材に柞蠶に將たまた特產物に貿易額の如きも激增し財界大躍進を來したれば從てより此の不便を感じつゝありし安東商務總會にては先年來埠頭設置の議を起し各方面の意嚮を確むると共に是れが設置方を奉天省長に向け請願せし處最近其の設置方法に就き回答し來りたる要項は

支那側に於て獨立したる埠頭を設置するは日本との國際關係上如何はしきものあれば設計書は見合す方可ならんも全然支那人

て賑くないが本溪湖には三好旅館があるだけで外に多くの旅館がない爲めに旅客は甚だ不便とし苦痛とする模樣である、何と云つても一軒の旅館が相當な旅館を始めてはドンナものだらうと云ふ聲を屢々耳にするのだ

◇それもだが此の暑い最中に六疊か八疊の一室に五人も七人もツメ込まれたりしては堪つたものではない遣りきれないのになると帳場へまで押し込められるとはイヤハヤとンダ目にあつたものだ、と云へばとて三好が悪いのではないから不思議ではないか。

◇事の次第のあらましを申せばだ滿蒙經濟やら申すイカメシイ大使命を帶びた大倉組の重役や某々等一行七八名が視察の爲めに本溪湖三好旅館へ御投宿相成つたと思召せ、而して御託宣に曰く、隨從に至る迄一人一室は是か非でも必

の不便不利觀過する能はざる者あらば宜しく護岸工事を施し幾分其の不便を除去し緩和すべしとありたるを以て商務總會は直ちに之を諾受し愈々大沙河の上流約五町の間に名を護岸工事と稱して支那人側の埠頭を設置す可く決定し秘密裡に準備を着々進めつゝあり

儲蓄總會の實現

本年二月の頃より支那人側に於て儲蓄會なるものを組織し每月一株に就き一圓宛を積立て三十ヶ月の後に於て總積立金三百萬圓を得て一の實業銀行を創立し兌換券を發行し得べく計畫し着々準備を進めつゝありしが其の議漸く熟したるを以て本月十日より實施したるが其の成績は極めて良好なりと(安東縣)

◎滿洲商銀と本溪湖 [illegible]滿洲銀行との合併に就き假契約を締結したる滿洲商業銀行は本溪湖に出張店を開店すべく既に其の筋の認可を得たる由なれば今回の定時株主總會に於て決議の上愈々決定發表を見るなるべし(安東縣)

◇南關里といふ所 大正四年三月滿浦線にて价川驛の事業開始と共に輕便鐵道敷設と共に三井は同地に市街を形造したるより內地人の移住するもの漸次に增加し今や內地人七十六戶(二百九十六名)に達し尋常小學校の設けありて兒童三十名を有し將來市街の發展に伴ひ益々人口の增加を見るべし(平壤)

大連雜信

◇鞍山土地貸付 滿鐵鞍山製鐵所事務所にては同地市街地第一回貸付區域殘部に就き前回同樣の條件にて日本人に貸付けを開始する筈にて願書受付は七月三十日迄とし借受人は本年中に家屋建築に着手すべき義務を有するものとす

◇取引信託成績 大連取引所信託會社にては二十七日定時株主總會を開き七年上半期營業報告並諸勘定金處分案を附議する筈なるが同會社今期純

要だ、そこで僅に十一室しかない三好だから一人一室と來ては客樣の遣り場に困らざるを得ない

◇それかと云うて同一行を謝絕する事の出來ない事がある、で已むを得ず事をわけての頼みで先客樣の暑いのを我慢させられたのである、又は帳場で一夜を明かしたのであると同時に御一行は樂々と一室を一人で占領して悠々と踵を延ばしての御就眠をされた。

◇由來滿蒙を經營するには、そんな事をみせなければ經營の成績があがらないものであらうか、自分さへ腳腰延ばして寢れば他の者はドンナ目にあつても知らないと云ふのが視察の目的だらうか此の調子で行くから折角立派な事をしても結合はよく云はない屯もすれば橫着だとか僭越だとか云ふのだチトは謹んだらどんな者だらう(新出生)

益金は二十七萬二千圓なりと

新義州より

一記者

◎經濟上より論ずれば西鮮は朝鮮の一大寶庫たるべく殊に鴨綠江流域の大森林は優に滿鮮の經濟界を左右するに足るべきかと存ぜられ候其他灣上農水產業等に對する投資者の殷足を延ばすべき餘裕尙綽々たる[illegible]に御座候

◎斯くて近き將來に於ける西鮮一帶は異數の發展膨脹を見るべきや期して疑はざる事に有之候殊に新義州は東亞滿洲沃野の物資吞吐の鍵鑰を握り水陸の交通機關殆んど完備し今や經濟的價値を認めらるゝ今日と相成候に就ては內容の充實と共に國境の大都市として亦面目を一新するに至り申し候

◎新義州は逐年殷盛を極め貿易額の如きも著しく膨脹し人口の增加も昔日の[illegible]に至り都市としての設備は全く整備し殆ど其の殷盛したるに水道工事は既に起工を見公會堂も建築の運びとなり諸問題は着々之が解決を見つゝあり候

◎斯くの如く一般設備全く完備せりと雖も市民は猶是れに滿足せず目下焦眉の急を叫び居るは乃ち行政兩部の新義州移轉問題にて候此內官廳の移轉を見るに至らば目下一般事務の處理上缺くべからざる機關を缺ぐ遺憾の點を一掃すべきこと共に此地發展に寄與するところ甚だ大なるものも可有之候兄も移轉に關する一得一失問題も自然之可く候らへども要は新義州市民の聲として此宿望を期待し居り候

投身者の心理

十數回の見聞

◆山田連絡船丸事務長談◆

話は十一日の撫順連絡船湖南丸の投身に始まる、自分は前後十數回目撃した事實や批評を總括して見ると死の前後殊に入水者には色々變つた心理作用を見出す事が

出來ると思ふ、死を覺悟した者に冷たいとか寒いとか云ふ觀念は無さそうに思はれるに冬季間投身するもの、少い、寧ろ絕無と云つても差支ない位なのも不思議である、

◇大部分が死の時刻◇

それから連絡船の入水者の大部分が死の時刻を殆んど黎明と極めた樣に決行する事も亦不思議である、船からの投身者は特に草木も眠ると云ふ丑三時を通り越した夜明けに於て良くやる樣に思はれる、先づ人が投身を覺悟する迄には少なからぬ煩悶をする、苟くも人世の最終たる死を求めるからには無論普通の精神狀態では出來得べき事でもあるまいが其死と云ふ關門に入るまでの間々は實際味はつた者でなければ之を想像する事は至難であらう、然し一度投身者が死と云ふ關門に捉はれると今度はそれを決行するに當りて

◇躊躇は有はせぬか◇

と云ふ事が第一に頭を擾ふらしい其のため船からの投身は必ず夜間を待つ傾向がある、無論已に全[illegible]出來てゐるもの、ドアーの開閉や[illegible]出づる頃は其の覺悟は船員の目を恐れ一方又離れ難れた心の大奥から死の瞬間に於る

◇苦痛と恐怖の念が◇

知らず識らず頭を擡げて來る、そして其處に死と生とが互に鬩ぎ合ふ、此の間の苦惱は一通りではあるまい、タイムは無心に刻々と進む、そして黎明となる、投身者はイヤが應でも決行せねばならぬ、で總ての場合が斯うした順序であるが

◇一度や實驗の投身者◇

を見た事がある、此の場合死を覺悟したものが他人に發見られぬ樣、障碍のないやうと努める事を痛切に看破し得た、誰か三十歲前後の男であつたと記憶する之は三等客であつた後何となしに海上を睨めてゐると一人の男が三等室から甲板へ駈上つて來て一二度デッキを走り乍ら廻つた末舷甲中寄げて飛び込んだ其の

◇動作の早いことは◇

驚くべきもので此の間何んとも手の着けやうはなかつた無論此の事情から總て死の準備も決心も充分出來てゐて他からの除隔を恐れてゐたらしい、自分は其の男が飛込んだ處を見たが件の男は沈みもせず海面に浮んでゐてキョロキョロと四邊を眺めてゐるには驚いた

◇早速救助の命令と◇

共にボートの準備もしたが何分大分風波もあつた爲め思ふ樣に捗捗しき動作も出來ず本船は遠廻りに投身者を見逃さぬ樣にしてゐる內漸くボートを下して救助に努めたが狂風激浪の爲め遂に見失つて了つた事がある之れに徵しても他人の目を恐れ殊に船尾を選んで投身する事が死といふ決心の次に襲ひ來る問題だと斷定を下して差支なからうと(釜山)

原料貸與 職業 大阪本町信濃橋東詰 振替大阪一〇七〇六 東洋物產合資會社 代理店募集

神經衰弱 陰萎 性慾衰弱 精神衰弱 早漏 夢精 遺精
發賣元 東京市下谷區長者町 竹島製劑所
萬珠堂

三十四年間 [illegible] 村田

參百枚限りの特價提供
純毛と少しも違色なき
セル袴タッタ金貳圓七拾錢
大石衣服店 京城本町三丁目 電話一八三二番 福井屋
店員入用 年齡十七八歲以上二十四五歲の者二三名入用但し保證人を要す

補血 強壯
定價 十日分 二十日分 四十日分 八十日分 百廿日分
京城明治町一丁目 電話一九四八番 振替京城三七五三番

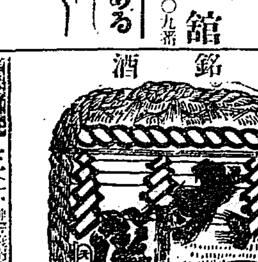
服してきゝめある

設備にして涼しい新築の客室を有する丁寧な旅館は
平壤幸町通り憲兵隊前
朝日旅館 電話四〇九番

主治 ◎下痢 加答兒 ◎胃腸病 腹痛 ◎消化不良 嘔吐 ◎水あたり 食傷 其他 食傷等より起る一切の下痢
價 金拾錢 金廿錢 金五拾錢 金壹圓
本舖 大阪 高橋盛大堂
發賣 高橋盛大堂分店
◎各地到る處の藥店に販賣す

開業廣告
時下各位益々御清榮奉賀候[illegible]
大正七年七月
大連市三河町 電話一二八七番
東亞產業合資會社 (資本金百萬圓)
無限責任社員 社長 村岡角輔
支店 奉天、撫順、鞍山站(準備中)
營業種目 一、農事經營及緬羊の飼育 一、各種雜貨品賣買及委託販賣 一、土地建物賣買仲介並管理 一、燒酎製造、煉瓦及瓦製造(工場準備中) 一、建築材料販賣

=再配當と本領發揮=
第三、四回會員に對し夫々五日間にて一口十三圓半の配當を爲し今又數口を出ずして更に一口十一圓の配當を了せり是れ本會の確乎たる所信を斷行せる結果にして價に其本領を發揮せるもの也而も沈々たる期米の趨勢は更らに大瓦落を演出すべきは論を俟たず時は今なり茲に第六回を組織し斯る千歲一遇の好機に於て大成を期せんとす
加入金一口參拾圓 申込期間八月一日迄
日本信託商會證券部
第六回 期米賣同氣會
會則無料進呈 大阪市北區堂島濱通一丁目二 電話北長九七二・振替大阪四〇五六九

銘酒

金 銀 菊 正宗 楠正宗
釜山 特約店 三巴京城支店 電話 三七八五 ○三番

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス 人蔘に優る滋養強壯劑 通稱 三枝九葉草エキス
主効 神經衰弱 貧血 腎臟病 陰萎 胃腸病 婦人病 生殖器病 リウマチス ヒステリー ヒポコンデリー 精力減退 老衰
定價 廿五入 金壹圓 四十入 [illegible] 五十入 [illegible]
送料 [illegible]
全國一手販賣 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目
京城特約店 山岸天佑堂
京城特約店 北島支店

塚原卜傳

第百四十一席 悟道軒圓玉口演

佐竹彈正左衛門に於ては小太郎に追付かれては堪らぬから手早く艪に飛乘り、此處を漕ぎ去らんこする、此時早く彼時遲くバラバラバラこ雨を衝いて岸邊へ馳來つたる家原勝義、天地に響く大音を揚げ『ヤアヤア彈正、汝何處へ逃げんこするや、卑怯未練の擧動何故引返して勝負をいたさん、譬令天に飛び地を潛る術ありこも我亦其れに應じて日本六十餘州は愚か天竺南蠻の末までも追駈けて討取らん、何の難き事やあらん、到底逃れぬ運命なれば潔よく觀念せよ我天に代つて誅伐する、此勝義の刃を受けよ』こ岸し突立ち呼はつたり彈正聞いてカラカラこ打笑ひ 彈『汝小太郎如何に焦慮り立騒ぐこも翼なければ此處まで飛ぶこごは叶ふまじ、匹夫の刃に命を落す彈正ではない』無念こ思はば早く來つて勝負を討て』こ言ながら大口開いて冷笑つた、何さま三十間も隔たつたる事であるから小太郎勇ありこも此船に飛移るこごは叶ふまじこ油斷をしたのは彈正が尤も、さりながら小太郎少しも騒がず 小『心得たり』こ言ふまゝに兩足を揃め、ヤッこ一聲掛けたかこ思ふこパッこ空中へ飛上つた、敵も味方も之れを見てアッこ思つたのも道理、傘を翳へすごこき大雨の中を空中へ高く飛上つて其儘姿は見ゑなくなつたのだから驚くのも無理はない、彈正も奇代不思議の術もあるものこ見て居る間もなく、忽ち空中からパッこ身を翻がへして彈正の船中へ飛込み來つた小太郎勝義、之れぞ播州花隈の城主戸澤山城守老先生より印可を受けたる天狗昇飛切りの妙術でありまする、三十間や四十間の距所は何でもない、飛鳥の如く飛込んで來た、流石の彈正アッこ打驚き 彈『己勝義邪法を學んで飛行の術を行ふこ見たり、イデ其儀ならば彈正が返り討にいたし此世の暇を取らせ見れん』こ身を離さず持たる金剛左衛門の佩刀に手を掛けハッタこ白眼んだ 小『小癪なり彈正、父兄の仇倶に天を戴かざる勝義が恨みの一刀受け取れ』こ兵二ツこ飛掛る、左右に防ぐ家來共、一刀拔連れ切て掛るを物々しやこ左右へ切倒す、邊へ熊吉身を躍らせ海中へ飛入り拔手を切て泳ぎ着き、彈正の船中へ飛上るこ 熊『小太郎樣此奴等は熊吉が片付けますから少しも早く彈正を……』 小『宜し』こ小太郎に於ては刀を揮つて飛掛り、拔合したる彈正こ二三合切結ぶ、熊吉は家來共を手玉に取つて打倒し、或は海中へ投込み働いて居る、小太郎進つて打込む太刀、固より彈正こは技倆が違ふから、受損じたる彈正の左の肩先きへ三四寸切下げる、アッこ驚いて彈正義胤思はず蹌踉こ船端へ蹌踉て撞こ尻居に打倒れる其所を起しも立てず二度目にサッこ切下した一刀、今度は右の小手を打落して脇腹より腰の番まで血烟り諸共割付けたに依つて堅がの彈正も 彈『無念』こ一聲後向きに海中へザンブこ許り陷つた、小太郎 小『南無三首を揚げずに海中へ落入らしたは殘念』こいつたが烈しき中で詮方ない、熊吉に於ては忽ちの中に家來一同殘らず海中へ投込んで了つて 熊『サア小太郎樣、彈正は私が水中へ飛込んで首は取りますから貴方は少しも早く陸へ……』 小『イヤ首は兎に角、彈正は慥かに拙者が討止め父兄の恨みは晴らしたに依つて之にて思ひ置くここなし、之よりは陸へ上つて遁る奴儕を切拂ひ、一同の方々に力を添へ片時も早く此所を引上げん、汝も一緒に參れ』こあつて塚原主從船を漕戻し、陸へ飛上るこ大勢の中へ割つて入り四角八面に薙伏せる、然れども敵は益々大勢こなりさしもの面々も疲れ切つて迚ひ難しこ見ゑたる處へ、忽ち一艘の艪船を走らして乘付來つたる者あり、舳を離るゝこ一刀の先へ彈正左衛門の首を刺貫ぬいて船の舳へ突立つた一人の武士、抑も此人は何者。

錢こ笠 龍山三角地公園前 御用達 金川商會 電話六四八番

一新幕より

黃海道新幕は京義沿線中の要驛にして機關庫を有し居り候故其れが爲め鐵道員も多く延いて內地人々口も五百を以て算へられ小學兒童數も九十名を超ゆ居るの現狀に之有候此地の產業こして見るべきものは農產林產業こして就中大宗の如きは例年の集散高一萬五千石以上に上り昨年は四斗叺三萬三千叺の取引を行はれ其他雜穀、木炭、枕木等の搬出多く此地の重要物產に屈指されつゝ有之候も木材類は森林保護の爲め伐木を縮減なる結果現在に於ては遲々こして振はざるの傾向を示し居り候、而して此地在住民一般の渴望は斯る物資の輸送道路即ち經濟道路の改築に之有候此地こ最も往來繁き處は平山、信川方面に之有候も同地方に通ずる交通路は不完全にして輸送上多大の支障を來し延いて經濟界に少からぬ打擊を蒙り居り候何之卒集散物資の取引上に關し市民は一般に金融機關の設置を望み[illegible]く當局に請願せん[illegible]分爲替の便なく總て郵便所のこに託し居り候も郵便所の[illegible]取引者雙方の不便尠からず候[illegible]設置の暁には此地產業の[illegible]固より土地發展上に資する[illegible]甚大なるものこ思惟致し候

◎大連水道貯水池

大連水道王家屯貯水池は目下五百萬噸の貯水量あり大連給水現狀にては約二箇年の給水量を有する譯なるが都督府にては將來大連市の大發展に對する計畫こして更に龍王塘附近に於て一大貯水池を設計し居れるが此の經費五百萬圓なりこ(大連)

暦

七月廿一日 九星 舊六月十四日 己巳 本命七赤 西 閉 先勝

[illegible]

演藝案內

壽館 京城本町 電話一〇五〇

[illegible]

黃金館 電話二二六三七 二二六六

[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

[illegible]

浪花館 [illegible]二丁目 電話二六〇番

[illegible]

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館

[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八

[illegible]

人から嫌はれる わきが

●全治して喜び給へ

◎音尾博士創見 化學的療法無代進呈

あざ ソバカス ほくろ イレズミ

捨置けば人から笑はれる[illegible]音尾博士が多年研究の結果[illegible]無代進呈

男女用 衛生防毒 サック 舶來ゴム製最良品 販路擴張ノ爲特價

[illegible]

東京市芝區愛宕町貳 振替東京一五八八 丁子堂

流經新藥 レスリン 月經

閉止四五ケ月以內の流經を容易にし[illegible]

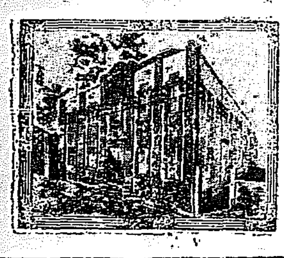
常盤藥院

大阪市西區新町通二丁目 本舖 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八一八番

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前) 本田醫院 院長 本田建義

附屬 京城肛門病痔疾療院 入院隨意 電話二四四三番 振替京城三二八番 肛門病諸册 痔疾持續注射根治療法解說書入用の方郵券十三錢要

人事周旋業 百般 萬年社 京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番



人氣ますます盛なる

白色美顏水

▲光榮ある白色美顏水を創製したる 桃谷研究試驗所

所長 藥學士 桃谷幹次郎

技師 理學士 西澤勇志智

同 藥學士 米倉昌達

同 藥學士 小泉勝次郎

同 醫學士 齋藤銳助

顧問 藥學博士 丹波敬三氏

同 醫學博士 山本彦一氏

現今の御婦人方全體の御希望にぴつたり適つた新化粧料

▲實に意外な 話があります。皆樣はよく、少しも態こらしい所が無く極く自然にスッキリこ氣持のよいお化粧顏の方を御見かけに成ませう。而て餘程お化粧上手の方が、何か特別の

▲秘密な方法 に依らないでは彼あは行かぬこお思に成ませう。所が案外にもあのお化粧が今では實に勞なく出來る時代こなつて居りますのです。あれは光榮ある桃谷研究試驗所創製

▲三十六種の 高貴御用品の內の一種こして、今大變な人氣になつてゐる白色美顏水でお化粧なさつたのです。實際此品でお化粧すれば、勞なく、見事に、丁度生れついて色白の方の

▲自然の儘の 色の白さ、美しさ……あゝ言つた美しさを、極く美術的に、それでゐて少しも態こらしくなく發揮す樣に成つてゐるから妙です。一體從來お化粧こ言ものは概して

▲婦人の苦痛 の種になつて居たもので、兎角不自然で白ペンキの樣に白かつたり何こなく薄黑かつたり、斑だつたりして、何うも充分綺麗に行かなかつたものですが、白色美顏水が

▲學者の研究 で世に現れてから、全く然うい心配が無くなつたので、婦人方の滿足此上なく、忽ち大變な歡迎を受け、今ますます流行こなつて居るのですが、では白色美顏水こは

▲どんなもの かこ言ひますこ、普通の水へ白粉を溶込んだ樣な品で無く、桃谷研究試驗所で新に發見した美容成分こ或特種の白粉を元にしてありますので、第一被覆力が強い爲附着して

▲斑にならず 生れつき色が白い樣な白さに見へ、第二に白粉の原料に殊に光澤のよいものを撰んである爲其白さに如何にも活々した艶が添ひ、第三に前に申しました新しい美容成分の

▲新しい作用 から化粧の一時的の美しさばかりで無く、常用するうち生地から皮膚を艶麗にし素顏の美を増す特色が在ります。化粧を一層自然に態こらしくなく而て美術的にこ言ふ

▲近來の婦人 方全體の御希望は、始めて白色美顏水で滿されたのであります。斯ういふ完全な化粧料ですから、白色美顏水は高貴の方々の御間にも始終御愛用を拜して居ますので

淋疾 內用

ブレノリン

ドクトル松本常一郎先生の創案により製出したる本品は速に體內に吸收分解せられて尿に強烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色こす。

急性慢性淋疾 消渴、膀胱、尿道加答兒等に賞用せらる。宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。

粉末錠劑の二種あり 各地有名藥舖にあり

東京室町 三共株式會社

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 馬山線 京釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同 京元線(北行) 同(南行)

[illegible]

京城日報

第二版

[illegible]本年度麥收穫高は全國合計に於て[illegible]麥七百七十九萬九千七百六十三石、[illegible]百三十六萬九千八十一石、裸麥六十五萬三千七百九十六石各減少の見込なり(農商務省發表東京)

▲前年 前記各府縣合計に於て北海道は[illegible]

ビールの強さ弱さは多少酒精含保ちの時間に差異あり製造會社等[illegible]沈澱物の著るしきは避くるがよし[illegible]の關係上濁れる物もあり然れ共清涼飲料水にありてもビールにしても其保存の場所方法等に依りて[illegible]

◆葡萄の果汁を使用せずして[illegible]

◆日本藥局方の葡萄酒、赤玉ポートワイン[illegible]

朝鮮貿易趨勢(三)

國別貿易概況

矢鍋關稅課長講演

以上の貿易額は貨物の外地金銀を含めるものなるが更に貨物貿易に就きて之を對內地貿易及對外國貿易とに區別するに對內地移出は大正元年[illegible]千五百三十六萬圓なりしが年々激增して大正六年には六千四百七十二萬圓に達し

▲約四倍に近き 膨脹を遂げ對內地移入は大正元年四千七十五萬圓にして爾後一兩年に亘り稍不振を呈したるも四年以來復興し六年には七千二百六十九萬圓に增加し即ち約八割强の增進を示せり。對外國輸出は大正元年は五百六十一萬圓なりしが之亦大勢累增し大正六年には一千九百四萬圓に達し約三倍半に增進し輸入は大正元年二千六百三十五萬圓にして二年三千百十五萬圓に增加したりしも三年即ち戰亂勃發の年に至りて二千四百十八萬圓に減じ四年には更に減退して一千七百六十六萬圓となり五年以來稍恢復し大正六年には三千十九萬圓に上り元年に比較すること一割五分の

▲增進を示せり 對外貿易に就きて重要國別を觀察するに前述大正六年の輸出額一千九百四萬圓中支那一千百十五萬圓、露領亞細亞三百四十四萬圓、露西亞本國三百二十六萬圓北米合衆國三十三萬圓等を主なるものとす之を大正元年の輸出五百六十一萬圓に比較する時は支那露領亞細亞共に倍以上の增進を示し殊に露西亞本國の如きは顯著なる增加を示せり次に輸入貿易に在りては大正六年の三千十九萬圓中支那の一千二百六十六萬圓を主位として北米合衆國の一千百六十七萬圓及び英國の四百五萬圓之に亞ぎ其他亞細亞方面に於ける暹羅の四十萬圓佛領印度の三十一萬圓英領印度の二十三萬圓露領亞細亞蘭領印度英領海峽植民地等の

▲各十五萬圓等 を除く外殆ど見るべきものなし之を既往の傾向に對照するに對支輸入は大正元年の七百二萬圓より概して順調の發達を示し對英國輸入は大正元年九百八十萬圓を算したるも時局の爲め重要品たる兩金巾及び其他の諸綿布類諸機械等を始めとし其他の貨物孰れも漸減したるを以て遂に半減するに至り其他歐洲諸國中獨逸は大正元年百五十九萬圓を算し白耳義は同じく二十萬圓を算し獨逸產の染料鐵類白耳義產の板硝子等は貿易上の重要の位置を占めたるも大正六年には僅に獨逸二萬圓白耳義一千餘圓に過ぎざるに至れり然るに北米合衆國は大正元年六百四十五萬圓にて之亦時局の爲め

▲一時不振に陷り 大正四年の如き三百九十三萬圓に減少したりしが五年六百五十九萬圓に復し六年に至りて前述の如く一千百六十萬圓を算し從來英獨より輸入せる諸機械及鐵類等に特に增加を示せり由來羅佛領印度等の亞細亞諸國も大正元年と比較すれば概して增加を示せるも年に依り增減顯著なることあり例へば大正二年に於て英領印度の百二十一萬圓佛領印度の六十九萬圓を算せしが如き之なり之を要するに朝鮮貿易中最も重要の地位に在るものは對內地貿易にして大正六年の輸移出額の七割八分輸移入額の七割二分を占め對支那貿易之に亞ぎ輸移出の一割四分輸移入の

▲一割二分を占む 其他の諸國は輸出又は輸入の一方に偏し輸出に在りては露領亞細亞四分露西亞本國三分を主なるものとし輸入に在りては北米合衆國の一割一分英國の四分弱等を主なるものとす而して對內地貿易は兩地經濟關係の益々密接を加へ殊に近來は國工業界の發達並に一般財界の好調に伴ひ一層增進の趨勢を示し對支那貿易も亦年々發達し對歐洲貿易は時局の爲め一時變調を呈し對米貿易は之に代つて稍增加せり其他印度方面よりの輸入貿易は朝鮮に於ける米穀の價格及び其豐凶に依り時に激增を來すことあり

獨逸宰相聲明

內外政策不變

▲外相更迭 十一日獨逸帝國議會中央委員會に於て宰相は外務大臣の更迭あるも帝國の政策上には何等變動なく內外の政策は宰相の之れまで聲明せる通りにて內政に於ては客年中の改革を實行するに努力す可く外政に關しては嚴に法王の平和提議に答へたる通りにして今後も之を變ずることなかる可し獨逸の平和用意は既に久しく世界の知る處なりと雖もウイルソン、バルフォーア演說に示せる如く獨逸撲滅の慾望を抛たざる限り吾人は戰ひを續くるの外なし敵國側より眞面目なる講和提議あらば之を考慮す可きは政府及び軍事當局とも全然一致せる處なりとの趣旨を述べキューールマンの辭職は他の事との折合に由るに過ぎず後任たる可きヒンツエは露國の事に通ぜり之れ重要のことなり然れども政策は宰相の政策にして外務大臣の政策に非ず客年十一月宰相の聲明、議會多數黨の贊同を得たる政策は今後も維持せらる可しと云ひ

▲對露政策 露國に對してはブレストリトウスク條約を基礎として其の實行を期す可く露國現政府は其の約言を履行するの力ありとは無條件に想像し得ざるも吾人は右條約實施に就き誠實に交渉を續く可し在露公使の殺されたるは悲しむ可し諸般の徵候は協商側にて吾人をして再び露國政府と干戈を交へしめん爲め煽動せるものなることを示す斯かる事は最も避けざる可からず吾人は露國と再び戰ふを欲せず露國現政府は平和を望め吾人は此點に就き同政府を支持す可きが同時に同國內に存する雜多の潮流に就ては充分に注意するを要すと述べたる由ウルフに見ゆ(海外發十七月十五日東京)

◆雨の南山　石田富造筆

南洋の近狀

南洋群島の產業としては甘藷、椰子、カラオ(蘭)の栽培及び高瀨貝の採取を主なるものとして居るが何しろ未だ領土權が確定しないので事業家も眞劍に全力を注ぐ事が出來ないらしい。同群島の輸出入總額は一箇年百五十萬圓內外で、輸出入は各七十萬內外だ、輸出の最大なるものは椰子の實コプラで一箇年の產額が八千噸(約六十萬圓)位其內約六千噸は日本の內地へ輸出される甘蔗は臺灣產よりも優良なるものが出來るけれどもまだ試作時代であるのみならずマリヤナ群島サイパン島ポナペ島の如き一部分で、サイパン島が一番進んで居るが、何分面積が少いのは惜い事である。是等の事業は戰前迄全部獨逸のヤルート會社が經營して居たが、占領後我國人の手に掌握された。漁業は戰前から我國人が西カロリン、パラオ、ヤツプ島方面で鼈甲、海鼠、鰹等を採つて支那へ輸出して居るけれ共、是等は至つて微々たるもので唯一つ高瀨貝の採取だけが盛大に行れて居る。高瀨貝は前記の群島の廻りにある珊瑚礁の上に棲息して居るのを土人達が潜り込んで採る。年中採れる譯だが七、八、九の三ケ月が最も多い。其時には市場に公定相場が立つて賣買される。彼の地では一個二錢五厘か三錢位で一噸二三十圓位のものだが、皆日本へ持つて來ると釦其他の關係で現在は百七八十圓位になる。それを內地では三百圓位に賣つて居るから儲け方も却々大きい大體同地は我國にとつて軍事交通上には重大な意義のある土地だが、產業上から云へば海面こそ莫大であるけれ共土地の面積が狹いのこ、水產類も遠隔の土地へ運ばねば價格が出ないから將來大に發展せしめるこ云ふ事は先づ困難である。我國が表南洋及び濠洲方面に出る貿易上の足溜こしては屈竟の場所で、表南洋の富源が將來世界の問題である以上、新占領地も我國に取つて意義深いものであると見なければならない。現在の日本人は一千名內外で勞働者が多く商事社こしては南洋貿易株式會社や南洋工業株式會社など勢力がある(某氏談)

浦鹽近海漁業

浦鹽近海は鱈の豐富な事に依つて有名だが毎年四五の兩月間にはこの鱈を積んで清津に入港する船は朝鮮帆船二百餘艘、支那戎克數十艘に達し鮮人漁業者の金融を潤す事夥だしい處が鱈に手を出すものは殆ど鮮人に限られ內地人は定住者たるこ亦漁業者たるを問はず浦鹽方面へは全く出漁しないらしい尤もポシエット灣へは北寄貝採取に赴くが更に一步進んで海產物の無盡藏なるアムール灣乃至ウスリー灣附近へ進航するものは殆ど絕無こ云つて差支ない元來この兩灣には寒流の混合物たる鯡の帆立貝、昆布を初め鰹等が頗る豐富でストレーロック灣の鰹の如き又同灣からヴオストック灣に掛けた至る處に生ひて居る昆布の如きは未だ何人も手を付けた形跡がない日露戰爭後沿海洲の漁場へ日本人もどんどん這入り最近露國の內訌に際しては殆んど漁場の三分の二を日本人の手に收め大に本邦漁業者の鼻息を荒くしたがこれは北海道系統の漁業者がやつたことで朝鮮殊に北鮮の漁業者は安閑こして之を傍觀して居る北鮮地方の漁業も近頃は大分競爭が激甚になつたが左樣した勢ひが近き將來に於て赴く處は必ず浦鹽近海でなければならぬ然るにこれ等の漁業者が浦鹽近海の研究をしないのは大勢を觀るの明が無いこ謂はねばならぬ殊に昨今は浦鹽に吾が陸戰隊が上陸して警備の任に當つて居るから日本人の氣受け甚だ宜しく何をするにも好都合の時機である、故に此機を逸せずに漁業者も該方面へ手を延ばして貰ひたい浦鹽附近は歷史上日本この關係が深く明治三十七年戰役の折には上村艦隊がウスリー灣から山越しに浦鹽市街を砲擊したことがあり近くは吾が海軍に依つて附近の安寧は保たれて居る又浦鹽の南方にはジャパニーズストレートなご云ふ名稱の海峽があるので日本人が該方面へ發展するのは前からの因緣が然らしむるのであるこ某漁業者は語つた

斯くして廢兵は廢人とならず

＝英米での新工夫＝

◆日本では廢兵は廢人である、社會生活に於て最も悲慘な人々である、而も其生活の資さへ充分に給せられずに慘苦に窮死するこ云ふ有樣である

◆此程米國の赤十字社では廢兵を廢人にしない新工夫が凝らされ、彼等が新に一人前の人として社會に立つて行かれる丈けの工夫が出來た

◆手のない者、足のないもの、何れも義手義足で、其の義手義足のまゝに使用し得る樣に教育せられつゝある

◆義手でタイピストとなつて居るも出來る

◆凍傷の爲めに片手と兩足を失ひ、殘れる片手の指も落して了つた人が市會議員となり牛耳を取つて活動して居る人もある

◆義手義足で不具を補ふ許りでなく顏に傷を當て醜き容貌となつたものでも、手術し修繕して立派な顏に仕立てる、鼻がなければ鼻を拵へる、口がなくなつた者にも口をつけ修繕して、口を拵へ顏の恰好を直す

◆英國でも此の廢兵は社會上の大問題となつて居る、倫敦のレーヂエンツ公園にビヤソンこ云ふ盲人の建てた盲兵病院がある

◆ビヤソン氏自身の言ふ所では自分の病院には盲人は居らぬ、視力を失つた普通の人が居る許りだ、自分で孰れも普通の生活を營み、自分で生活費を得て居る、其の人々三百五十人が色々の職業に從事して戰爭で盲目となる前よりも高い收入を得て居ると云ふ

◆其の人々が何んな仕事をして居るかと云ふと按摩とか庭園こかの仕事は全く盲人の手に移つたと言つてもよい、彼等は鳥の種類をも區別する、野菜や果實なども擇り分ける

◆其外大工、指物師こなり、タイピストとなり、ノートに點字で書いてこれを迅速に正確にタイプライターに打ち出すのである

東萊溫泉雜詠　古城梅溪

東萊中內蓬萊舘。臺榭淸高風日暖。更有主人應接宜。淹留幾日歸期緩。(蓬萊旅舘)

泉石琴書客玩全。優遊自適忘煩緣。滿庭已是非凡境。俗後迢迢人亦仙。(蓬萊旅舘庭園)

壬辰戰迹訊無由。古往今來惹客愁。金井山頭餘敗壘。洗兵樹下水空流。(金井山古城趾)

東郊二月曉霞氛。暖日和風鳥語欣。試比漢城春色早。蟾痕已著綠三分。(東萊郊外)

終日重陰鎖不開。晚寒無力手中杯。群鴉飛下白砂上。忽寫百千米點來。(東萊川晚望)

二月春寒暖未回。雪花如繁玉成堆。畫中奇景更奇趣。鴉墨斜斜點樹來。

學鴉曰、首首置境、而寄想變通。不落窠臼、使人動游思。

金剛山寫眞帖

定價 金貳圓五拾錢　送料 鮮內十二錢 鮮外三十二錢

金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べく時將に漸く盛夏に入らんとするとき之を繙かば京城腋下に湧くの概あるべく更に又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり

發賣所 京城太平通 振替京城三〇〇 京城日報社代理部

最新刊

京都帝國大學講師 理學士川村多實二先生著(下卷近刊)

日本淡水生物學

菊判布裝全一冊挿圖五百餘上卷正價參圓五拾錢郵稅拾八錢

著者は本邦斯學新進の士こして既に斯界に定評あり本書は十有餘年の研究に基き本邦斯學に先人未拓の新域を開ける大著にして調査研究より說き起し淡水動植物の種類生態分布・生理の所說に及び之が採集及飼育法並に上水道の衛生的研究に付て新內容充實敍述整然こして動植物學研究の士は勿論水產業並に上水道當局者等にも緊要缺くべからざる新著也

發兌 東京日本橋區 振替東京一〇七番 裳華房　京城本町 振二五七三 大阪屋號

小學教員受檢講義

立身の捷徑は先づ就職容易なる小學校教員となるに限る全國其不足額に四萬本會は學監師範學校教頭大家諸先生監修の下に最も親切速成に教授し受驗就職の便を與ふ正科一年高等進檢定科六ケ月卒業會則申込次第進呈

東京小石川局區內 帝國師範教育會

贈答

今年の中元暑中の贈答も又々

七大醫學博士の賞讚ご證明ある美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインに

お決め遊ばせ!!

眞に好適品

■夏の健康を保全する意味に於て實に好適品
■置けば置く程品の良くなる實に好適品
■体裁優美にして値段又格好の好適品
■御婦人お子達にも喜ばれる一般向の好贈答品

類似品あり 赤玉印に御注意

日本少年

八月號 夏季附錄

交戰國點取競爭

帽子被せ遊び

▼島めぐり ▼海底の森 ▼巖窟王 ▼長詩「笛」…芳水 ◉富士登山競爭…受賞者一千名 ▼小公爵 ▼父の自慢 ▼大蛸こ鬪 ▼山の歌

一冊十五錢 郵稅一錢

少女の友

八月號

夏の涼しさの思ひ出

少女小說 巡禮の歌

▼赤い塔の家 ▼尊き藥草… ▼南の果の町 ▼今年は ◉暑い國の夏の凌ぎ方 ▼黑い蠻女 ▼喜歌劇 ▼茶目式旅行 ▼手毬歌…

一冊十五錢 郵稅二錢

幼年の友

八月號

早變り七段繪卷

おとぎばなし『小伯爵』

▼水族館 ▼夕に咲く花 ●母の答かみなり樣 ●お猿のチャップリン ▼提灯行列 ▼こんだお禮

東京 實業之日本社

出兵問題

△對米回答要旨 外交調査會の回答成案協議

十七日の外交調査會は對米回答の成案に就き協議を進めたるが結局帝國政府は米國の提議に同意しチエック援助の趣旨に依り浦鹽に〇〇〇〇の兵を出す可し 但し米國の提議日米各七千と謂ふ希望なるも其單位は戰鬪上の關係と各國特殊の編成とあり略米國の提議に接近する兵數を以てするも多少の差異は是を承認せられたし而してチエック軍援助の目的の遂行には當然西伯利某々地點にも派兵せざる可らず然らざればチエック軍救援の目的を達成し難し依て帝國政府は〇〇〇〇某々地點に〇〇〇〇を出動せしむ可しとの意味を以て回答の要旨とせり（十八日午前九時東京發電報延著）

△米の回答を待たず 外交調査會の浦鹽出兵協議

十七日外交調査會にて議定せる對米回答に關聯し浦鹽に派遣の兵員〇〇〇〇は或は緊急を要す可きを以て米國よりの復牒を待たず平時編成の儘直に出動するも差支へ無き事及び他の西伯利出兵は全く米國の提議外に屬するを以て更に先方より何等かの回答を藉るに非ざれば實行に移らざる事と其編成の戰時平時孰れなるかは調査會にて立ち入る事無く軍事當局に一任する事となれり（十八日午前九時二十五分東京發電報延著）

△米國撤兵期提議

米國は今回の西伯利出兵に就き米國政府は其の撤兵期をチエック軍が浦鹽より引揚を了し所期の目的を達したる後直に撤兵す可く提議したるも帝國政府は假令引揚を終了するも西伯利の秩序整ふ迄は撤兵すべからずとの主張を有し十八日外交調査委員會の議題に上る可し（十八日午前十時發東京電報延著）

△英佛軍浦鹽出動

〇〇守備英國兵及び〇〇駐屯佛蘭西軍は〇〇日〇〇國汽船に搭乘し浦鹽に出動の豫定なり（大連電報）

△西伯利我居留民保護

過激派の浦鹽其他への出動はチエック軍援助を主たる目的とし全然居留民を敵とするものにあらざるも場合に依り過激派との衝突免れざる可く其際は在西伯利居留民の引揚を生ずる可きを以て我海軍にては豫め是に備ふ可く浦鹽ニコリスク其他沿海州沿岸に對し萬一の場合足溜りを作る等我居留民保護に關し或種の行動を執る可し（東京特電）

◇レニン政府前閣員捕縛

レーニン政府はサビンコフ、スコベレフチエルノフ、チエレテリー及其他の前閣員を捕縛し同時に戒嚴令を施行したり（莫斯科電報）

◇殖産調査委員會

十八日午前九時より拓殖調査委員會を開き水野委員長以下各委員幹事列席總理大臣の諮問に係る綿羊改良繁殖に關する件、馬匹改良繁殖に關する件に就き調査審議し十二時散會せり（東京特電）

◇外米釜山陸揚

臨時に於ける第一回外米移入は宮崎丸にて十九日柴棍米五百噸指定販賣の三井物産、鈴木商店の手に依り釜山に陸揚されたり（釜山特電）

◇殖産株と大連

大連に於ける朝鮮殖産銀行株は應募豫想外の好況にて募集額の十數倍に達したり不日按分して應募者に割當つる筈なり（大連特電）

◎借款反對後報

十七日午前九時より長春附屬地外支那側劇場燕春茶園に於て吉林森林借款反對演說會を開き來會者二千餘名に達し其內千餘名は正午閉會と同時に鎭守使衙門に押し寄せ陳情する所あらんとせしも漸く慰撫せられ解散せし事は既報の如くなるが反對運動者は過般來檄文其他種々の方法を以て當地人心の動搖を計りつゝありしも餘り注意を喚起せし模樣なかりしに十五日夜吉林會議出席中なりし商務總會副總理狄與義、哀勸學所長及び巢縫垣遙長親等が歸來せしより形勢一變し商務總會及び勸學所の主なるもの發起となり十六日に演說會を開催一般の形勢何となく不穩也（吉林）

◎鴨江吉林材 額

本年の鴨綠江及び吉林材木は平年より流川多かるべき見込なるが最近實査せし者の談によれば鴨綠江材は平年約百萬石內外なりしが最早既に八十萬を算し居れば年末までに百七八十萬石は疑ひなかるべく又吉林材にては平年約二十萬石內外なりしもの本年は確に五割以上增加の見込にて黑龍材も亦大分增加の模樣あり目下大連の一般相場左の如し

北海赤松角（一—三の尺物）一圓十錢△吉林同（二四尺物）一圓乃至一圓二十錢△安東赤松角一圓乃至一圓十錢△吉林白松角八十五錢△安東同八十錢△北海道松角九十五錢△米國松二圓五十錢△北海道雜木九十五錢（以上一立方尺に就き）

◎大貨物特定賃金

鐵道大貨物特定賃金表中左の通改正し八月一日より施行すべしと

▲朝鮮線發之部 大豆中院線內運賃の項を削す
▲鐵道院線發之部中 穀物（大豆を除く）米、麥（大麥、小麥、裸麥）に改む
▲滿洲線發の之部中 穀物（小豆、高粱、包米、黍子、粟穀子、花子、胡麻麥類、小麥、大麥、裸麥）に改め條件中二の胡麻花子蕎麥を削除す

◎鮮米買付の中止 ―小西氏辯明して曰く―

鈴木商店の手先として鮮米の大買占をなしたりとの說ある小西辰次郎氏を朝鮮ホテルに訪ふ氏は今回の買占問題に就て曰く

或筋の意を受けて私が內地米價調節用の鮮米買付を初めたのは六月中旬でした、夫から釜山群山木浦仁川方面を主とし約十數萬石の正米を手に入れてゐます然して京仁米穀商の數氏が提言されるやうに政府から石五圓の補給を受けてゐると稱して買つたとか又は內地相場以上に買煽つたとか云ふのは全く事實無根の話しである

▲五圓の補給說と 云ふのは專門屋々に出てゐたさうだがそれは外米を內地に輸入するのに政府が石に約五圓の補給をしてゐるから、朝鮮米を米價調節のため內地に移入するには同じく五圓の補給があるだらうと云ふ單なる臆說に過ぎないと思ふ、又內地相場を無視した買方は私はやらない現に釜山群山方面では品も不足であるし

▲値頃も內地この 開きに出合はなくなつたから去る七日の二三日前まで內地相場出合以上より全く手を引いてゐる、これは當局にも言明してゐるのであつて全く事實です、唯仁川方面では出かと云ふに私は或方面の手を經て三十錢位高く買つた、コレはナゼ仁川取引所七月限りで三萬石程買立て、ゐた所が今回の紛擾に際し賣買双方解合ふ事となつたので其

▲買立の三萬石は 受渡しをして頂けなくなつた、しかしその三萬石の米は買付の豫定量に入れてゐたのであるからそれがなくては困ると云ふ所より右の引當てとして京城仁川の市場で若干高目のものを買つたのである、それが昨今の問題を生んだ直接原因ですので、然し乍ら鮮內の米價も上るし品も少ないし當局の御意向もあるし私の約一月の間に買立てた十數萬石（明示せず）では不足だけれど今回の買付は先中止し二十日下仁

▲二十一日に大阪 に歸る豫定です、鮮米の買付をドコから指令を受けたかと言れるのですか、それは御推測に任せます然し何れ分る事と思ふ、唯私個人の利を計るために買占めをはかつたのではありません之れは明言します、又ドレ位既に朝鮮を積出したかと云ふ事は約四萬石位でせう、その大部分は尙ほ鮮內に在り輸送を急いでゐる譯です又

▲鮮內米價の暴騰 は出兵氣構へ內地の暴風雨より來つたのであつて、私の買付けも若干は與つてゐるようが全然私等の買付けのためとなすは酷だらうと思ふ、尙ほ京仁米穀商の數氏は私の買付けた米の積出し禁止の希望を有してゐられるさうだが、今日內地の米價が目下の如き値でゐること云ふ事は

▲鮮米の移入の途 のついてゐるためである、若し此際鮮米移入の途が切れるとか切れる運動があるとか云ふ報が傳はるとすれば、內地の米價は一層奔騰し、自然鮮米も連れて上りはせぬか乎此邊にお考へを及ぼして頂きたい繰返して云ふ私等の鮮米買付けは全く中止しました

▲小山鈴木支店長曰く 今回大阪の米商小西氏が鮮米の大口買付けをやつたと云ふ事に就ていかにも鈴木京城支店が采配を振つてゐるように思つてゐる人のあるのは甚だ迷惑の至りです私は小西氏を知つてゐる、又小西氏がどう云ふ方面から指定を受けて鮮米の大口買付けをやつたかも知らぬではない、然し鈴木支店とは全く無關係である、唯小西氏を總督府の某高官に紹介した位に留まつてゐる、予として此際鮮米を買付て置けば儲かると云ふ事は存じてゐる、然し米價調節の聲の高い今日我利を圖る爲米價を動かす樣な行爲に出づる事はやらないのである

◇所有米數量屆出

臨時外米管理部の發表に據れば農商務省は七月三十一日正午現在に於て十石以上の內地米を所有する者をして其の數量を屆け出でしむる筈なり（東京特電）

▲善後策協議 仁川當業者會合

鮮米の買占問題に就き仁川穀物協會は十九日午後一時より役員を召集して臨時總會を開き商業會議所樓上に於て之が善後策に就き協議する處ありたり即ち今回の買占めたるや朝鮮は內地の犧牲に聚げられたる形ちにあり之れ鮮住民の忍ぶべからざる處なし之が買占を停止するは勿論現在買收せる米の輸出をも禁止されん事を其筋に要求するに決し、更に現在の買收に係る實米の輸出を斷行するの曉如何に朝鮮が影響を蒙るべきかに就き具體的數字を列擧して其筋に要求する處あらんとし之等の調査を爲す爲め七名の委員を選任散會せり而して引續き委員會に移れる其結果行方法として先づ各地當業者の喚起を促す爲め本會の決議要項を飛電し一方商業會議所に之を通知し更に會議所は全鮮の商業會議所に向つて輿論を喚起するに努むべく斯くて各地相俟つて蒙

◎出兵と海運界 ―朝郵當局者談―

出兵と朝鮮海運界の關係に就き朝鮮郵船會社の某有力者は曰く出兵も傳へらるゝ如く

▲六七千 を浦鹽に送る位にに止めばその一般海運界の受くる影響は大ならざるべし何となれば兵士一人に當り船腹五噸を要するこし七千人の輸送に要する船腹は僅々三萬五千噸に過ぎざれば也、乃ち五千噸級船七隻內外にて事は足るべしその他咽喉方面の派兵ありとするも要するに大部隊にあらざる事は察知し易きに付海運界の前途に大變動を來すとは思はれず更に朝鮮海運界は如何と云ふに現に定期航路として阪神より回航し來る船舶は

▲大阪商船 の宮島丸安平丸の二隻に留まりその他若干隻の臨時船あるもソハ言ふに足らず結局宮島丸は命令航路につき浦鹽延長となすかも圖られざるも兎に角朝鮮航路の船舶を內地に引揚ぐる如きは萬なからん、朝鮮郵船としては浦鹽大阪航路を經營し居る以上直接軍隊の輸送に關係せずとも軍需品の輸送並に軍隊の出動に附隨し航する人士等のため

▲多少航路 も盛となるべき乎更に浦鹽とハルピン方面の連絡成りハルピン方面の貨物が浦鹽に吐き口を求め大阪方面に溢送さるゝ事ならば輸送上若干好況を來すべきか要するに出兵と朝鮮海運界は大なる交涉を有するものとは思はれず

大阪より

△英國製鋼發展 英國の製鋼業は最も早く發展し世界の第一位を占めたるが米獨の大發展に依り目下第三位に下れるが時局中英國製鋼業を統一し新式の電力熔鑛爐に全部改良し極力品質の改良を圖りたる結果鋼質の優良なる點は米獨を凌ぎ戰前の英國輸出高は百萬噸に比し八割の增加なり英國は平和の後軍需品製造力を一般必需品に應用し鋼質の優良と技術の進步とを以て世界の經濟戰に有力の發言權を有する覺悟なりと

▲生糸印度有望 印度の上流社會にては絹布を常用し本邦より紋羽二重、紋紗、絹縮緬其他絹織物の輸出六七百萬圓に上り印度にても生絲を輸入し絹織物生産高約二千萬圓內外なるが此生絲原料は約一千萬圓近く輸入せられ居るが其輸入額の大部分を占むるは支那生絲にして日本生絲は米國及び歐洲を得意とするを以て全く印度を閑却し居れるが日本生絲にして印度市場に競爭することは極めて有望なるのみならず約一千萬圓の輸入額を日本生絲に於て占むる時は印綿決濟資金の調節となり一擧兩得の結果を來すべしと

◎朝鮮に米管理令 近く發布されんとの入電あり

仁川米穀所への入電に據れば近く朝鮮に米穀管理令の發布を見る可しとするもの、如く右は市場に重大なる影響を及ぼすべき打擊に對し之が最善の策を講ずべき事を期する事に決し午後六時散會せり（仁川）

◎七月上半貿易 八百二十二萬八千餘圓

七月上半期に於ける朝鮮貿易は輸移出品價格四百十一萬六千百三圓輸移入品價格四百十一萬二千八百五圓合計八百二十二萬八千九百八圓にして輸移入超過額九萬六千七百二圓なるが之を前年同期に於ける輸移出三百四十八萬八千五百七十七圓輸移入三百九十萬一千五百二十八圓合計六百五十八萬五十五圓に比すれば孰れも著しき增進を示せり次に本年一月以降に於ける累計額を見るに輸移出六千百九十四萬三千九百九十四圓輸移入七千百八十四萬七千七百二十六圓合計一億三千三百七十九萬一千七百二十圓輸移入超過額九百九十萬三千六百三十二圓にして前年同期に於る輸移出三千九百七十八萬六千六百十四圓輸移入四千二百六十八萬二千六十三圓合計八千二百四十八萬八千六百七十七圓輸移入超過額二百八十八萬五千四百[illegible]に對比すれば輸移出二千[illegible]六千四百八十圓輸移入[illegible]十二萬五千六百六十三圓合計[illegible]五百六十三萬二千百四[illegible]の增進なりと

◎趙子爵轉地

趙重應子爵は病氣療養の爲め目下開城白雲洞に滯在中なりと

◎早川旅團長歸任

早川第三十九旅團長は十九日午後九時四十分發退京歸任せり

人事消息

▲福岡光哲氏（京都商業會議所會頭）十九日午後退京內地へ
▲東京大倉商業學校生徒觀察團九名十九日夜入京東京館へ
▲早畑榮三氏（元山辯護士）同上山本へ
▲飯田代議士 十九日夜入京天眞樓へ
▲加藤武夫氏（明治專門教授）同上

閑言語百種

頃は丁度日露戰爭の眞最中沙河會戰が終はされたる矢先の時▲黑木軍の一枝隊が兎ある村落を過ぎようとする際道傍に支那人の嬰兒が棄られてヒイヒイ泣いて居た▲之を見た枝隊長の一將校は早速此嬰兒を懷き上げて右手に劍を持つた儘オイ泣な泣な▲嬰兒はハタと泣のをやめてニコニコしつゝ將校の顏を眺める▲何たる好畫題か何たる好詩題か此の枝隊長こそ當時の陸軍大佐大井菊太郎▲今回第十二師團長として小倉に急遽赴任した大井成元中將である▲中將が菊太郎を成元に改名したのに付ても亦面白い話がある▲中將が大正三年未だ少將で陸軍大學校長をして居る時分の事▲或姓名判斷師に見て貰ふと『閣下のお名前では將來とても發展は望まれない今改名されると大將にも元帥にもなるべき運勢が見えます』と聞かされ▲大に感心して即日菊太郎を成元に改名したが成元とは元帥に成ると云ふ意だ相な▲處が開任ぜられたので其れ當つたと大喜び▲今度更に第十二師團長となつたから之から一と働きウンと働くと云つて居る相な▲加奈陀の日本人義勇兵で戰場に出て居るのは百八十五人であるか▲其內で戰死者四十七名即ち四人に一人強の戰死率である▲加奈陀軍の八人に付一人に比べると約二倍に當つて居るので今更乍ら日本人の勇悍には驚いて居るだらう

◎六年度の歳入

は大體既に收納濟と見るを得べく[illegible]四百一萬[illegible]財源收入に至りては尙ほ收納未濟の金額に在りては[illegible]の多きを以て其精計を知るに由[illegible]

◎棧橋新設請願

木浦は[illegible]に利する處實に莫大なるものあり殊に[illegible]

◎不埒な口入屋

[illegible]

天下唯一 小學程度の者が自宅獨習にて學士になれる
水野內相 大島陸相 推薦
速成 實用法律教授錄
校長古賀博士◎顧問横田磯部兩博士◎講師博士學士分擔
新學期校外生募集 實用法律學校
先づ速に規則書を見よ（無代進呈す）成功最近道

自動車
本校卒業生は校外生と雖も短期に運轉手技術販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生募集規則送呈
東京市 東京自動車學校 大阪市西區市岡町 右大阪講習所

京日案內
▲藥劑師雇たし（電話四三番）森 吉 造
▲女中入用 太平町大漢門側 高柳紙店
▲乳母至急入用 京城府明治町 飯塚 電話二四〇番
▲內勤高級外務員採用
賣物
舊恩給 長五〇二五番 博多屋本店

宮內省御用達
野田醬油株式會社
千葉縣野田町

瓦斯管 合資會社南方商店 京城南大門通二丁目

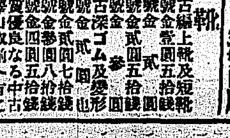
外科花柳病 內科婦人病 入院隨意
醫學士 齋 勇
醫士 齋 豐 次
大和病院 京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇二番

漢江遊船 共樂社 電話五二八番

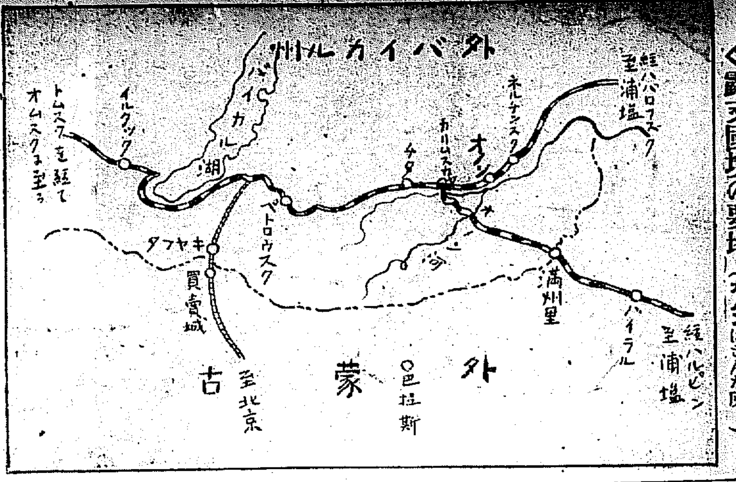
酸素透熱療器
オキシデアテルミー
定價 貳拾五圓

オキシデアテルミー商會

左官建築材料
セメント 石灰 硅藻土 火山灰
左官材料 各種色土 各種塗料
建築材料 各種耐火煉瓦 各種土管
京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
石灰 特約販賣
卸商 戶澤商店

中古靴

倉持古靴店

◇露支國境の要地（オノンはどんな所？）



◎獨逸東進の道

＝西伯利と中央亞細亞の二路＝

◇獨墺俘虜十萬三千は漸次軍團を形成す

◇イ市方面チェックの孤立を援けよ

西伯利出兵はもう問題以上に緊張して今は唯如何なる點まで進むかと云ふ所まで來てゐるらしい、獨逸勢力東漸の脈絡に就き某當局は語る『獨逸が侵略的並に經濟的軍國主義を實現するために▽…東洋方面 を狙ふ事は久しい者で、先づ獨墺から絹綿を經て土耳古斯波を貫き印度洋に出やうとする所謂バグダッド線を計畫したが是は英國の阻害に遇つて遂に投出さねばならぬ破目に陷つた、然しながら此の失敗を償うて餘りある他の二つの線が獨逸のために開かれたのである、その一は即ち我國に最も直接の關係を及ぼすべき▽…西伯利線 であつて露國の革命解體に依つて端なくも獨逸の野心に幸ひした者である、これはワルシャワ、ペテログラードを出て、西伯利に入り鐵路に沿うて、オムスク、トムスク、イルクック等を經てハバロフスクから浦鹽に出る、實に遠大な計畫であるが獨逸に取つて此の際願つても無い幸運とも云ふべきは西伯利に▽…獨墺俘虜 十萬三千のある事だ殊に最近に至つて彼等の多くは段々重要地點に集合し、且次第に武裝する者が增加して來た今西伯利亞に於ける獨逸の勢力は之を二手に分けて見る事ができるオムスク方面からイルクックに至るまでの鐵道沿線は最もその勢力の濃厚な處でイルクックとミニジネウヂンスクとの間に於て▽…チェック軍 と獨墺軍とが對峙してゐるイルクック以東ではハバロフスク方面に於ける一萬餘の獨墺俘虜と過激派軍が漸次南下してニコリスクを壓迫し此處でチェック軍が辛くも引き止めてゐるのであるが、チェック軍の西伯利に散在するものは全部を總じて約五萬に過ぎない小勢である、一時も早くチェック軍を援けて先づ▽…浦鹽方面 を安固にしなければ危いそして更にイルクック方面のチェックを其の孤立から救つて滿洲里方面にあるセミヨノフ軍と聯結せしめる必要がある、獨逸勢力の西伯利線は猶多くの支線を作り、オムスクから新疆に入り、蒙古方面に延びんとするもの恰克圖、買賣城から北京を窺ふもの、滿洲里、哈爾賓、浦鹽を聯結せんとするもの等が、それであるが、此等の方面では又▽…支那軍隊 の力をも俟つて大なる警戒を怠つてはならぬ兎に角西伯利線は現に獨逸勢力東漸の最も明確强力なるものと見るべく、イルクック及びインノケンチエフスカヤの兩驛には作戰準備として既に一千輛以上の貨車を集中したと云ふ事、浦鹽駐在の軍需品をハバロフスク及びイルクックに移したと云ふ事、又獨墺俘虜は▽…漸次軍團 をかたちづくりつゝあると云ふ事是等は皆吾々の注意すべき事ではないか次に大切な獨逸勢力の通路としてはウクライナの獨立に伴なつて得た所謂中央亞細亞線でキエフ、ハリコフを經て裏海に出て土耳其斯坦に入る一線であるそして是れと▽…西伯利線 にはタシケント近傍に於て連絡し得べきやうに出來てゐるのである、土耳其斯坦には過激派赤衛軍約一千の外俘虜が三萬乃至五萬を數へる、その中獨逸の俘虜は武裝してゐると云ふ、斯くの如く獨逸の勢力は西伯利、中央亞細亞の二線に依つて今や陰に陽に東洋の平和を脅やしつゝあるのである。

◎オノンはどんな所

獨墺軍が司令部を置いて居る

＝西北後方にヤブロノイ山脈を控へ東南前方にアムールの上支流を横へて＝

◇昔から露支國境の要地

愈々出兵と言ふ事が決まつて各方面とも多少緊張した氣分になつて來たが目下獨墺俘虜軍が司令部を置いて居ると傳へられてゐるオノンと言ふ所はどんな所であらうと調べて見ると此のオノンは外バイカル州に在る

▽人口一萬足ら ずの都邑に過ぎないが例のチタとネルチンスクとの中間に位し黑龍江の上支流たるオノン河とインゴダ河の交叉點に當つてゐるチタの方から東に向つて行けばチタ、イダロボ、カリムスカヤ、ウルクガ、ズバレウオ、オノン、ネルチンスクの順序となつて居る共にアムールの沿岸に沿うてる都邑であるカリムスカヤは哈爾賓から來てゐる

▽西伯利鐵道と 黑龍江に沿うて敷設してあるアムール鐵道との落合つた所である元來バイカル州には人口一萬以上の都邑が十五ある即ち其れはトムスク、イルクック、フラゴエチエンスク、ウラジオストック、トユーメン、バールノール、クラスノヤルスク、トボルスク、ビストク、カバロブスク、チタ、コリバーン、エニセイスク、クールガーン、ミタシンスクであつて右の内

▽外バイカル州 の首都はチタである バイカル州の面積は二十三萬七千方哩餘住民は六十六萬四千人と云ふから一方哩に就き三人の割合にしか當つてゐない、オノンの東ネルチンスクは例のネルチンスク條約を以て有名な所でチタ迄約百七十八哩を算する所である、而してオノン、ネルチンスク附近は年々ネルチア河の氾濫する所である位低地である主に農業牧畜業等が盛んで商人としても獸商とか毛皮商とか多いとの事であるネルチンスクは十六世紀の末葉

▽露西亞と支那 との外交接衝の地點であつて此のネルチンスクの城塞が建設されてから北方支那及び地方露西亞人の軋轢始終絶えなかつた此の頃迄は支那兵の勢力は偉大なものがあつて露西亞人も一歩を讓つてゐた位で、斯うした軋轢の結果が西暦一千六百八十九年に露西亞のゴロビンと支那代表者との間に締結された

▽ネルチンスク の條約となつて現在は殆んど支那人の迹なくなつたのであつた爾來殆んど二百年間支那人は露西亞人をしてアムール沿岸に一指だも染させなかつたと言ふ位支那の勢力が當時は偉大であつた。要するに目下獨墺軍が司令部を置いてゐると傳へられて居るオノン附近は昔から

▽露支國境附近 の要路に當つてゐた事は疑はれぬ事實であるオノン附近は丘陵地であつて西北後方にヤブロノイ山脈を控へ東南前方にアムールの上支流を横たへてゐる要害の地である。

◎小富士丸離礁

既報十七日午前二時半江原道江陵郡宗畔面沿海陸地より約十間の處に於て坐礁せし下關日本水産會社所有汽船小富士丸は同日離礁したるも破損の程度甚だしく航行不能に付き下關及び元山に向け來援方を督促中

◎郡書記遭難

江原道蔚珍郡書記朝日直雄同雇員向瀨光次の兩人は春川の道廳に於ける會議列席の爲め七月十一日午後二時頃蔚珍の都合上慶北に出で

◎怎んな米相場の 激變は何時まで續くか

＝取引開始當日の仁川定期市場＝

十六日午後の定期市場寄合困難より開場に至らざりし仁川市場は標準相場とする大阪定期市場が紛擾に紛擾を重ねて取引停止の情態なると尙東京兵庫の兩市場亦幾多の波瀾曲折に立會一定せず正米界の

▲大問題勃發 の形勢にて、仁川市場にては客先の委託米を拒絶せしより取引開かれず暗雲低迷の間に彷徨しつゝありしも俄然大阪定期市場が十九日午前立會停止となり本月中開場に至らざるの入電に接するや何時迄も仁川市場の閉鎖を續く可きに非されば十九日午前より

▲取引を開始 するに至れりされど前記の情態にて標準相場不明なるも前場寄附を二十三圓五十錢となせしに三節には二十四圓七十錢の高値に大暴騰を演ずるも忽ちにして賣物現れ二十四圓三十六錢に暴落し次いで二十四圓四十六錢に上り散會せり後場は二十四圓四十五錢の寄附より二十四圓二十九錢と落ちしも二十四圓三十錢を以て散會せり

▲斯樣に相場 激變せしを以て平時なれば市場大に活氣を呈る筈なりしも當日は一軒の店に二名と制限せしより取組少く市場至つて靜肅久振に開場せし前後場共に激變の市場なりき（仁川にて特派員電話）

◎山縣五十雄氏令息 セウル、プレス社長山縣五十雄氏の令息久雄君（六歳）は先月末腹部の病に犯されしが病勢日に險惡となり遂に醫を犯されて十八日朝永眠せり葬儀は十九日親近者のみにて私に之を營み遺骨は他日東京雜司ケ谷に於る同氏墓地へ埋葬することゝせり

盈德郡江口港より漁船に便乘し浦項港に向け航行の途中暴風雨襲來し翌十二日午前一時迎日郡興海面武汗洞沿岸より約一里の淺瀨に乘上げて船體顚覆して其下敷となり九死に一生を得て浦項に出で大邱を經由して漸く春川に向へり船體破損損害約五十圓なりと

◎京城神社 總代會決議

◉總代相談役等を日鮮人同數にする◉

京城神社大總代二十名は昨十八日午後四時より神社事務所に於て會議を開催し諸般の事項を協議したる後朝鮮人貴族の提議に係る左記事項の決議をなせり

日鮮同化兩種無別の趣旨は日鮮無差別一視同仁の叡慮に基き天照皇大神宮を奉祀せる京城神社を崇敬せしむるに如くものなし此意義に於て今後は相談役大總代を日鮮人同數に選擧する事とし兩種無別崇敬無異の義を明かにする事

◎家や懷中の 締りをせよ

夏は緩み勝だ

夏は家の戶から人の懷迄開放的になり易い、是れに就いて某警察官は語る、暑い夏は氣候の具合で納涼の意味から自然に締が緩くなる爲めに其の開け放しを附け覘ふ小泥棒や

◆大切な 財布などを遺失する向きが多い、夫に引籠り勝の冬の頃と異つて夕景などは一家族揃つて散歩などに出歩くことが多いから盜難に罹ることもあり、汽車や電車の內又は一寸休憩した驛の構內や茶屋の緣臺などに

◆忘れ物 をする人々もある蓋物は身輕な扮裝であるから、滑り易い草の袂口などは遠慮なく袖から脫け落ちるのである、京城で落し物の多い場所は南大門驛と電車の中と本町通りと新町とである本町では

◆買物の 爲め往來人の夥しいのと新町遊廓では醉つ拂つた嫖客が遺失するのであらう、盜難の被害は町や場所に定めは無いが家を丸明きにして外出するのが取られ易い

◎大相撲一行

東京大相撲團、千葉ケ崎一行百四十名は十九日午後四時兼二浦に來着せり停車場には勸進元世話方藝妓等三百餘名出迎へたり力士一行は直に指定旅館に着きたるが元氣頗る旺盛なり（兼二浦特電）

▲淺內布教監督 眞宗大谷派本願寺朝鮮布教監督淺內式惠師は本月十九日より八月五日迄の豫定を以て湖南線各地に散在せる同派布教所の教勢視察の爲め出張することゝなれり

◎聯合涼み淨瑠璃

京城の名流素人淨瑠璃會が聯合して大會を催せし事は從來無かりしが今回斯道奬勵のため各派合同發起の下に來る二十二日より七日間每夜正六時より壽館に於て涼み淨瑠璃會を催す出演の各派は彌生會（鶴澤小且）鶴枝會（豐澤團系）若松會（竹本昇太夫）旭町俱樂部會、龍聲會（竹本瓢玉）梅榮會（竹本[illegible]）奈良町、天狗會（竹本國之助）若葉會（竹本[illegible]）本町若、廣司連（豐澤廣司）[illegible]會（野澤[illegible]）等にて京城に於ける各派全部出さ

涼しいお料理

◆暑い暑いでくたびれ切つて宅へかへられた御主人にせめてもの骨休めは夕飯の御膳に涼しさうなお料理を勸める奥樣方の御心掛です

◆先づ冷し雜煮 はかまぼこを薄く切つたもの二三枚三葉の莖ばかり揃へて一寸位に切り鯛の切身を一鹽あて、白燒にしたもの以上の品を普通吸物の汁を仕立てよく冷して置くか又は氷をあしらつてすゝめます吸口には柚子の皮を丸く切りとつて添へます

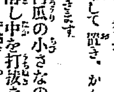
◆あわびの水貝 はあわびを貝のまゝ手に持つて粗鹽の上でよくたゝきつけますと身がしまります、これをわさび匙の柄の方で貝と身との間に突込んで身をとりはづし身許りをサイの目に切り鹽でよく揉み尙三十分許り鹽水につけて置き硝子器などに盛つて上から氷を削つて乘せてあげます

◆鱧の胡瓜酢和合 鱧は水洗ひして開き身にしたのを俎に半分に切りはづしたのを極薄く庖丁で小口から切り落し鹽をふり胡瓜はザクザクにして鹽をあて水洗して置き別に胡瓜をついてよくすり酢でザット加減して右の二品を合へるのです

◆かも瓜のみそかけ はかも瓜の皮をはづして厚さ五分位の花形又は一寸位の角切にでもして柔かく湯煮し後冷して置き別に白胡麻をすり白味噌とすり合せ砂糖を加へてサッと煮上てドロドロにしたのをこれも冷して置き、かも瓜の上にかけていたゞきます

◆いんろう漬 は白瓜の小さなのを選び兩端を切り落し中を打拔き水洗ひして鹽水に三十分許り漬けて置き別に鰺を三枚に下し鹽をして後甘酢に下して置きこれを薄く作り身にし青じその葉や土生姜を細くきざんで適宜右の魚に混ぜ合せて瓜の中に輕くつめ組の上に瓜を並べ上から又組をのせて重石をかけ薄べたになつたのを四五切にしてお皿に盛ると結構です

◇夏の室内装飾



掛物、花瓶、香爐は何うする 成る可く瀟洒したものを……

◆愈々夏になつて御座敷の飾り床裝飾はどうしたら良いか先づ床の間から始めると第一には掛物で之は成るべく瀟洒したものを用ゐる積り手の衝んだ山水や花鳥などは避けて水墨の山水とか佛畫向きの簡單なもの、雲龍ならば眞書、楷書のものよりは草書か行書かの一行物がよい

◆香爐は置かぬ方が宜ろいで良いが若し置くならば古銅などの嚴肅なものよりは、ちとか樂燒など、卓も脚のついたものよりは、地板などが結構である

◆花を挿す場合には成るべく、涼し氣なものを選ぶ事を忘れてはならぬ花瓶も銅器を避けて陶器若しくば籠を用ゐる陶器ならば古瀬戸、備前、古丹波などがよく九谷とか錦手と云ふ樣な模樣の物は適當ではない

◆南畫物は何でも適當であるのは避けるのである掛方も種々あつて其の時季に依つて形の適當したものを選ばねばならぬ

◆屏風を立て廻すにしても金屏風は夏向きには不適當である白地の屏風が良いのである

◆床の間には家によると夏でも簾か細の席き樣付のものなど非常に涼しく映りのいゝものである

◆夏ならば成るべく瀟洒なものにしたい、金蒔繪のセカくした物や文臺など置いてあるが之は夏向きとは言へない、草花なども非常に面白く見られ夏の裝飾調度に光彩が放つものゝ一つであらうと云ふことである

職業 原紙貸與遠近男女 自宅で誰にも出來るキレイな手仕事年中無休日收熟練 一圓半確實詳細見本付説明郵券拾錢要す（特約店募集） 東京淺草藏前橋前 朝日商會總本店

趣味鼓吹雜誌 月一回發行 ◎喫茶之友 往復端書にて見本一部進呈 山城宇治田原 喫茶之友社

株式會社平安農工銀行登記事項變更 土地調査令ニ依リ査定ノ結果支店ノ所在地左ノ通リ變更ス [illegible] 大正七年七月拾八日登記 沙里院出張所

いろは金言カード

消化と毒けし 仁丹 三輪井上兩博士御方劑 本舗森下博藥房

ⓡ留守頼まれる程信を置かれよ（俚諺）

ⓞ男らしき品性を備へよ（西哲）

清い肌

垢ヌケした生理的の美貌は、どこまでも厭味のない、そして活々した奥床しさを添へます

肌を清くしツヤをよくする

ウヅマキ石鹸

あらゆる美容 あらゆる化粧の地肌を整へるには本品に限ります

東京横山町 天野磯五郎

アセモ タダレ タイドク 靴ズレ等皮膚の損傷を豫防治癒する

强き殺菌力と皮膚の形成促進の特能ある本劑に依り暑中の皮膚を保全せらるべし

シッカロール

全國各地藥店販賣 東京 大阪 和光堂

治痰丸

百毒下し

下毒便通劑として好評嘖々 ●ばい毒●そう毒●しつけ一切によし

各地有名藥店にあり

同名類藥あり商標に注意を乞ふ 登錄商標 本舗 伊勢四日市赤堀 藥學得業士 加藤翠松堂 振替東京三〇四五番 大阪一七九五番

藥價 十四錢、十五錢、廿錢、五十錢、一圓、一圓五十錢

……かを反映せり右の内（一）租税收入 [illegible] 四百廿四萬三千圓 [illegible] 實收を示し（三）官業益金 [illegible]

▲製鐵所益金 又製鐵所（二）印紙收入 [illegible] 見なしと云ふ（東京）

[illegible] を得る因縁と爲さば經濟上に於て [illegible] 食物を與へざるより鮮人等憤怒の [illegible] 全部各驛と大邱相互間の [illegible]

妻の心（四十二）

七の四　小林蹴月作　武内桂舟畫

鱧子は、恐れ入つて身を小さくしながら後退つた。

『若龍も若龍、櫻井も實に意外千萬な奴だが、鱧子、お前と云ふ女も、内氣一方の女と思ひの外、節操の前に、大膽な事を爲たものだね。』

久三郎の聲音は、びりりとして而も、底力のある激怒を含んで居る。

『出過ぎた仕方とは存じましたけれども、何とかして旦那樣の御意に叶ふやうに致したい一念からで御座います。』

『嘘を吐きなさい。お前と櫻井と兄妹同士腹を合はせて、僕に侮辱を與へる了簡なんだらう。いや、確かに然うとしか思へんのだ。』云はれて見ると多少思ひ當ることもある。氣の毒だがね、鱧子、今日までは乃公も比較的お前に同情を表して、すべての事に手心つた了簡だが、然うしたお前の考へであるなら、乃公は乃公の獨立行爲を取るから、その決心で居なさい。櫻井こてもその通りだ。隨分長い間兄弟同樣に交際つたり交際はれたりした仲で居ながら、現在乃公の關係しこる女と知りつゝ、そんな無禮な遣り方と云ふ事があるもんか。斯うなつたら既う若龍の問題ではない、お前と櫻井こが當の相手である。』

『まッ、旦那樣、龍さんの事は存じませんけれども、妾があの龍さんと眼を合はせて、旦那樣に侮辱を與へるなんて……そんな事を致す、妾か妾でないかは、平生からの事情をお察し遊ばしても……。』

『いや、平生の事情も葦も要らん話だ。乃公は確かに然う信じてるんだ。』

『そ、そ、そりや御難題と申すもので御座います。妾が女だてらに彼アした場所へ出て參つたのがわるいとの事なら、そりや幾重にもお詫を申しますが、必らず必らず旦那樣のお爲めわるからうやうにと思つての事では御座いませんので……。』

『そりやお前の遁辭と云ふもんだ。結果から推して乃公の云ふ通りぢやないか。鱧子、乃公は、胸が少くしやくしやして不可から、少し散歩に出て來る。後でお前達は、手に評定を凝らすが宜しい。乃公の一身はもう什うならうと、お前達の世話にはならんからね。』

氣短かの久三郎は、羽織さへも引掛けずに、兵兒帶姿のだらしない著流しの儘、蹴るやうに椅子を開いて、庭へ降り立たうとする。

『あれッ、旦那樣、お腹立の所は、此の通りお詫を致しますほどに、今晩外へお出ましになります丈は、情願……情願御辛抱遊ばして……』と、鱧子は、堅手こその片袖へ縋つて、

『妾の身を可哀さうと思召して、それ丈は御辛抱遊ばして、く……下さいまし。』

と、泣き沈む顏には、涙が道を作つて流れる。

『いや、辛抱出來ん。這麼不愉快な家には一寸だつて居たくないんだ。第一、乃公はお前のその涙が大嫌ひなんだから仕方がない。』

久三郎は、自分ながら殘酷な言分と知りつゝ、意地と痴癡まぎれに、到頭鱧子の細い白い手先を突ッ放すやうに振り切つた。鱧子は、突ッ放された途端によろよろッと三歩後によろめいたが、その儘ばつたり敷居に倒れて、一時は起きも得上らずに居た。

『だから、止めるなと云ふんだ。これ鱧子、乃公は今日まで默つてたんだがね、お前の阿母さまはかねがね僕と云ふ者を叩き出して櫻井とお前とを從兄妹同士の夫婦にしたいと云ふ希望を有つて居られるさうだ。お前も恐ろ、僕のやうな酔狂の無責任な人間は諦めて了つて、櫻井と夫婦になるのが牛涯の幸福かも知れんぞッ。』

勿論故意ではあらうが、久三郎は、毒舌のやうな毒舌を浴びせて、冷やかに鱧子の打倒れたる姿を視ながら、通用口の方から出て了つた。鱧子は何にも準備する間はなかつたのである。

◎内地麥收豫想

本年の麥作は播種期以來[illegible]に於て降雨頻繁なりしを以て[illegible]收穫作況思はしからず[illegible]前年實收九百十六萬八千八百[illegible]十四萬四千九百六十六石、小麥八[illegible]七百六十五萬五千四百六十五石更に本年度[illegible]三月一日現在新潟長野宮城縣[illegible]量の關係もあれど概ねホップ使用[illegible]ありて攝氏零度以下の冷室に貯へ風味を有する[illegible]の多少によるものにして夫に依て醸されたるものは六七年は以[illegible]たる良酒は[illegible]

日報俳壇

圏病餘句錄　小谷山柴坊

帝名波を見返れば驛の屋根光る　永登浦

因徒耕す畑外の地や鬼薊　渓江

陽の筋に絲釣れる杵や江鹿ら　病窓雜觀

雉子鳴くや裏山松に流る雨

驕に乘りて嫁く子女あり夕柳

廊下往き交ふ草履の音や夜半の春

囀りや病舍に續く洗面所

苗物の伸び讚む夢や春早　知外臨望

晩春や松に明げ行く燈一羽

無造作に牛が喰み去る董かな

若者に大吠ゆる花の月夜哉

蜘蛛の囲に小蝿かゝりて春暮るゝ

暗の帳にほつかり浮ける櫻かな

春行くや名もなき鳥の高鳴きて

憂愁を窓に凭りて雨の花を見る

鳴き過る、歸雁淋しき曉雨かな

文藝欄

▲朝鮮人の謡曲界　安中恒次郎氏の肝煎にて組織せる謡曲會にては同會創立後の第一回謡會を二十一日（日曜日）午前十一時より太華亭（寺町明月館支店）に於て開催の筈なりと、日の出謡會あり司し

□半日集

灯取蟲　坡柳

步き廻つてわかれて來た火蛾を拂へり

この服ぬぎ得ふるものなく灯取蟲を殺し

最後のひとことをかく云はんとする火蛾を押へ

みな滿足してかへりこの火蛾の戰ひ見よ

感激したすこりは立ちあがつて火蛾をつかまんとす

○　鳥堂

女いはうとする瞬々の火蛾よ

門衛士に椅子をすゝむる木の間の灯取蟲

早くから灯取蟲も來る外出衣にたらや

須京の花白く火取蟲生る

灯取蟲をうちこれからお前は歸るのか

新刊紹介（到着順）

▲面白倶樂部（果ものゝ）長短數十篇の小説、講談、落語、浪花節、新内、俳話を滿載し、津々として盡きざる趣味を以て充されたり各種の雜誌を壓倒せり（廿五錢東京市本郷區駒込林町講談社）

▲少年倶樂部（八月號）北隆館の興味深く多方面なること、名流大家の執筆にかゝること、美しき口繪寫眞の豐富なることに於いて少年雜誌中の一異彩（定價金二十錢東京本郷大日本雄辯會）

▲支那研究資料（二ノ二）支那に關する調査に成る新知識を網羅したる三百餘頁の册子なり（丁四大連東公園町十七號地大陸社）

▲少女（音樂號）美しき口繪寫眞の豐富にて記事有益多趣味なれば少女界讀の附錄あり少女の好讀物なるべし（廿五錢東京々橋南鍋町二時事新報社）

▲飛行少年（八月號）表紙口繪は洗馬備伯の筆に成り讀物として冒險小説帝自動車、命の綱、生首奇談、父の幻影、修善寺の露、小さい畫家、奇怪妖怪少年の非役、奧元帥の十數ヶ所の彈痕等（十五錢東京々橋本八丁堀二の一日本飛行研究會）

▲少年（八月號）清き海底、海底巡動場、沈沒船引揚作業、海底六萬哩（活動寫眞十二頁）コンノート殿下歡迎報等の口繪あり記事には海の秘密、前世界海を荒した動物、トム君の海底旅行、海底大森林探檢記、人魚の噺、一萬二千哩潜水艇の話、深海の生物等あり特別附錄として夏やすみ日記あり（二十錢東京々橋南鍋町二の一二時事新報社）

▲大阪銀行通信錄（二五〇）卅錢大阪北區中之島一ノ二九大阪銀行集會所

▲仕入案内（一一ノ七）十五錢大阪東區唐物町一ノ二大阪仕入案内社

▲新少女　名所見物號　十五錢東京雜司ケ谷上り屋敷一一四八婦人の友社

▲極東時報（六六）十八錢東京麴町區内幸町一ノ五共社

▲土木建築工學（五二）二十五錢東京日本橋區本石町一ノ二工業社

▲刀劍と歷史（九四）二十五錢東京豐多摩郡澁谷町中澁谷南豐島御料地羽澤文庫

▲朝鮮農會報（一三ノセ）二十錢京城府水原郡日南面高等里朝鮮農會

▲文藝研究（七月號）十五錢大阪東區農人町一ノ二江東社

▲電氣何（[illegible]）五錢大阪北區若松町二[illegible]電界社

▲婦人畫報（四ノ二八）五錢東京牛込市ケ谷田町二ノ一七正社

▲愛知縣商品陳列館報告（八六）五名古屋市中區門町愛知縣商品陳列館

▲岡基虎之巻（六ノセ）二十二錢東京府荏原郡奧富士見町四三富の日本社

讀者の領分

▲新山三角の夜市も旧を追ふ毎に小賣商人が廢れて行くのは惜しい現象であるが、歸唐の一躰とも云ふべき悪商人を入れる事は我民上に大なる損失があるから夜店事務所に於て充分取締つて貰ひ度十六日の露店にアラスカ金なぞと口から出まかせな云つて粗製の指輪を二十錢で買つてゐた（マア十七位）買ふ人も買ふ人だが賣る奴の横着は甚しい悪んな奴は早く驅逐せぬと他の商人が迷惑だらう（傍觀生）

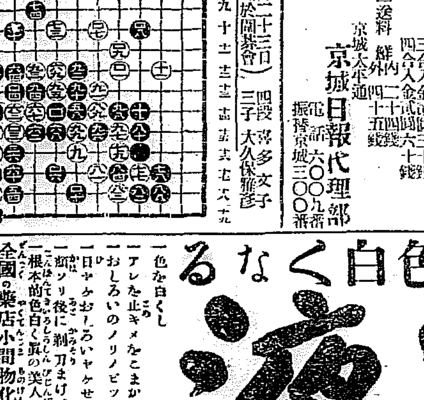
▲在留不明生に答ふ、在留地滿期點呼簡閲點呼に在留地を變更せしときは在留地府尹又は郡守を經て當所管轄領事に届出るものとす居留民團長に届出るものとす、在留地を記入するを要す、在留地を變更せしときは本籍地聯隊區司令官に届出るを要す（軍司令部）

▲愛國の士君、余は何んで彼等居留に對して慨慨しませうや、けれども彼等も帝國臣民として慨慨すべきを汚してゐるものとしたら慨慨すべきことである。私は何にも文學を攻撃いたしません。所謂新しきに捕はれた文學彼等の云ふ藝術てのものはよしとしてもその云ふことがあまりに淫蕩的柔弱である。太平の光に醉うて淫蕩的思想や享樂的の主義が盛に起つた國の末路はどうだ、古來滔山の例があるではないか。文明の行詰りは滅亡だ。日の出の國に彼等は大なる敵だ（春洋）

▲トマトの利用法即ちトマトの料理方の二三種及びトマトを以てソース又は其他の何者なりとも製法を御存じの方は本欄で何卒御教示下され度く皆さんへ御願申候（トマト好生）▲本町辭務所へ申上ます南山町稲荷の上の山にはもう一二箇月前から朝鮮乞食が草を褥に住んで居りますが田舍の病院附近だから思ひます浮浪罪になりませぬか（投書生）

碁戰（六）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於同碁會）　四段 喜多文子 三子 大久保雅彥



書画用 絖 京染呉服商 なまや出張店 京城永樂町二 電話一一九六

皮膚科 外科 門 徽毒 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

京城本町二丁目 正氣堂 電話二九五番 振替京城一二八三 ▲御一報次第見本送呈

新式 魔法瓶 △圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓

△水筒形 三合入金二圓三十錢 四合入金二圓六十錢 △送料 鮮内四十錢 鮮外二十五錢

京城太平通 京城日報代理部 電話六〇九番 振替京城三〇〇〇番

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなる

ゲンソ液

宮内省御買上品 名譽金牌受領

一色を白くし 一アレた止キメをこまかにし 一おしろいのノリノビツキたよくし 一日ヤケおしろいヤケせず 一剃ソリ後に剃刀まけせず 一根本的色白く眞の美人美男子となる

全國の藥店小間物化粧品店に販賣す、近所に品切の時は直接本舖へ切手代用御注文を

小瓶廿錢 德用四十錢 送料内地八錢 海外廿錢

本舖 東京神田和泉橋際 松本殖次郎商店

舟遊びは 漢江 龍山 遊船倶樂部 電話一〇番へ △御一報次第參上▽

りん病 日本一

專賣特許 博士證明 生殖器障害も同器で治る 自宅器械療法 他の療法では効力の達せぬ尿道粘膜内に潜む淋菌の根治を確實に治し得る此新法にて全治を遂げ得べし 生殖器不完全者は宜しく治療を受けられたし 他に良男の比較を希ふ りハガキで申込めば説明書無代進呈

東京市本材木町三 新療法研究所 大阪市北區北森町 新療法研究所 京都 鳥丸通下ル 新療法研究所 朝鮮京城本町二丁目 新療法研究所

止瀉劑の最高權威たる 柏村博士の ヘルプ

下痢 腹痛 の時、如何なるクスリを撰定するが一番安全？

下痢の原因

は不消化と黴菌作用に起因すれば、其藥劑は必らず、それ等に向つて一大作用がなければ決して價値あるものと云へない。然るに從來の藥劑は、その生命とすべき用意が缺けてゐて、たゞ一時的に下痢を止める單純な收斂劑ばかりである。かゝる藥劑をウカト信ずる爲め反つて病を重くし、又種々の故障を來して、キツト後悔を殘す、斯の如き實例は夏季下痢病流行の際、絶えず耳にする所であるから、其撰定には充分注意せねばならぬ。

前宮内省侍醫柏村博士のヘルプは此等の缺點を考慮配劑せる、他に斷じて比類なき下痢止腸胃藥なれば、一度これを服用せんか、其特有せる消化と殺菌の作用が忽ち其病根を治癒せしめ、腸の機能を整へると共に吸收力をも旺盛ならしむ。此所に於て、はじめて下痢止腸胃藥の眞價が認め得らる。

ヘルプの驚くべき偉効は既に智識階級から『現代唯一の腸胃藥』として盛んに賞用せらるゝ事實に徴して明なれば今更贅言を要せざれど、今や斯病に犯され易き季節に入れば、特に記して、諸君が藥劑撰定上の參考に資せんとするのである。

殺菌力絶大なる 下痢止腸胃藥

定價 貳拾錢 參拾錢 旅行用ポケツト型 五十錢 德用 壹圓 貳圓半

ヘルプの特長 健胃、整腸、消化、殺菌、鎮痛收斂、防腐等の諸作用を完備せる現代唯一の理想的腸胃藥

▼全國有名の各藥店に販賣す▼

藥効作用 ●食過●水あたり●食あたり●寢冷腹●時候あたり●消化不良等より起る… ▲下痢腹痛 吐瀉▲澁腹 腹瓦斯を止め ▲腸加答兒 ▲胃加答兒 を治す

本舖 東京日本橋區本銀町 津村敬天堂 振替東京八六四番

パインビジネスペン 好評經濟的事務用 金ペン付 定價壹圓九拾五錢 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇〇番 京城日報代理部

最新刊

書名 著者名 定價

●朝鮮大地圖 二圓 總督府編纂

法律學説判例總覽 第七巻商法總則 高窪喜八郎 三、五〇

性相學原論 ゴーム氏著 松村譯 六、〇〇

◎書翰文規範及文例 定價八十五錢

現代式商用關案 杉山茂榮男 一、三〇

坪内逍、佐々木信一共著

戰時經濟百面觀 高原操 一、二〇

戰爭平和及將來大日本文明協會

戰後の列強 尾崎行雄 七〇

◎金剛山寫眞帖 定價二圓五十錢

商店の會計 眼部彌太郎 一、三五

新刊 英和商語辭典 内池信人 川井田直助共 二、〇〇

東京府郷土古俗誌集 伊藤三郎 一、五〇

◎勅撰八犬戀歌集 吉田湖月著 定價一圓貳拾錢

夢二作 青い船 竹久夢二 一、〇〇

婦女の信仰 高島竹迷 一、〇〇

京城本町 大阪屋號 電話六八四番・二〇八六番 振替京城二五七三番

りん病ばい毒 良薬 謹告 京城龍山等各地に偽物有御注意 ▽にせドラッグあり御注意▽

奸商なり 商號を盗用する者あらば其は全く偽物なり

本舖大阪 ドラッグ商會 京城南大門外 停車場通 花柳病藥房 ドラッグ商會 在滿鮮本部

長女光江儀病死仕候 葬送の際は遠路態々御會葬被下難有奉深謝候 乍略儀以紙上御禮申上候

七月二十日 父 高橋松 親戚一同 友人一同

日本郵船仁川出帆 ◎大連、天津行 柏丸 七月十九日 酒田丸 七月十一日 ×高砂丸 七月廿九日 船客御斷 仁川海岸町二丁目（電話十番）堀回漕部

阿波共同汽船出帆 仁川 大連直行（關東都督府命令船） 共同丸 七月十八日 後入港 七月十九日 前出港

朝鮮鐵道主要驛に於て荷客連絡取扱 阿波共同汽船株式會社 大連にて荷客連絡輸送

仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番）野口商會 元山代理店 春日町（電話二四七番）田口回漕部 京城取次店 南大門通（電話八二六〇・一二）河村運送店

釜山出帆廣告 汽船 ◎第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 七月 日後四時出 ◎第三琴平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 七月 日後四時出 ◎天眞丸 佐須奈、嚴原、博多行 七月四日 午後十時出 釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船出帆 神戸、大阪行（仁川出帆）友康丸 七月廿五日 後五時出 群山大阪行 ×安東丸 七月十六日 正午出 西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸 七月廿日 後十二時 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 七月十九日 後九時出 上海、基隆、打狗行（大連出帆）湖北丸 八月十二日 前四時出 基隆丸 七月廿四日 後六時出

内地各港出帆主要航路 歐洲行 南米行 濠洲行 北米行 孟買行 南洋行 一年四回 一年四回 毎月一回 毎月一回 毎月一回 毎月一回

御注意 ◎外國航路及朝鮮沿岸航路ハ時間ノ都合ニ依リ變更スルコトアルベシ ◎朝鮮沿岸各港及内地航路ノ切符ハ各船一等社ト鐵道切符ト共ニ賣出シ外國航路ノ切符モ... 大阪商船株式會社 京城支店 京城南大門通 電話二二番 仁川支店 仁川本町 電話二七〇八番

尼崎汽船仁川出帆 第一大湖丸 下關、大阪直行 月 日後四時出 群山、木浦、釜山、下關、大阪行 君が代丸 七月十九日 後四時出 大有丸 七月 日 後四時出 仁川海岸通二丁目（電話九番）高杉回漕部

朝鮮郵船出帆 浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由 平安丸 七月廿二日 釜山發 七月廿四日 元山發 平壤丸 七月廿三日 清津發 七月廿七日 元山發 雄基行 ×印江原道各港セズ 京畿丸 七月廿四日 釜山發 七月廿七日 元山發 成鏡丸 七月廿九日 釜山發 八月二日 元山發 元山雄基線 元山迎日灣各港經由 穩城丸 七月廿五日 元山發 大阪行 浦汐發清津城津元山釜山門司經由 越後丸 七月廿六日 元山發 七月廿八日 釜山發 金剛山遊覽便 元山發長箭行 六月自至十月五ケ月間 毎日 穩城丸 七月廿九日 元山發 濟州島行 釜山發 巨文島經由 咸德丸 七月廿四日 釜山發 釜山浦項線 釜山發長生浦方魚津九龍浦經由 江陵丸 毎日 釜山浦項發 濟州島行 釜山長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月廿八日 釜山發 濟州島行 東廻 八所安島經由 西廻 八島崖子島經由 東廻 慶興丸 七月廿九日 西廻 公州丸 七月廿六日 木浦發 釜山麗水線 統營丸 海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發 毎日 麗水發 木浦麗水線 麗水ニテ釜山行接續 順天丸 七月廿五日 木浦發（以下三日目毎ニ木浦發） 多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 八月二日 木浦發 木浦行 仁川發各港經由 全州丸 七月廿九日 仁川發 海州行 仁川發延平島海州龍塘浦經由 新江丸 毎日一回 南陽丸 仁川海州發 海南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 七月廿五日 仁川發 青島行 仁川發各港經由 山陽丸 七月廿五日 仁川發 朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有

本社 京城南大門通 電話一一九五・一三三二 釜山港 佐藤町 釜山支店 元山港 海岸通 元山出張所 仁川港 代理店 京町 堀回漕部 木浦港 代理店 山野回漕部 京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話長二七〇番 其他各寄港地に荷客取扱店あり